

---

平成 28 年度 修士論文

美術工芸品を含む歴史的建造物の防災計画に関する研究  
- 東京都の事例を対象として -

首都大学東京大学院 都市研究科学研究科  
建築学域 都市設計研究室  
15886430 武内 雄太  
指導教員 鳥海 基樹

---



---

## 目次

第1章	はじめに		6
1-1.	研究の背景と目的	- - - - -	6
1-2.	既往研究と本研究の位置づけ	- - - - -	7
1-3.	研究手法	- - - - -	9
第2章	研究対象の概要と現在の取組み		
2-1.	東京都の消防署の現状	- - - - -	12
2-2.	対象建造物のデータ整理	- - - - -	15
2-3.	現状の取組み	- - - - -	19
第3章	消防署側からみる防災計画整備		
3-1.	アンケート調査の概要	- - - - -	24
3-2.	アンケート結果	- - - - -	25
3-3.	管内特性について	- - - - -	31
3-4.	ヒアリング調査	- - - - -	33
3-5.	小結	- - - - -	37
第4章	所有者側からみる防災計画整備		
4-1.	現地調査	- - - - -	40
4-2.	現地調査結果	- - - - -	41
4-3.	ヒアリング調査	- - - - -	47
4-4.	小結	- - - - -	49
第5章	総括		
5-1.	まとめ	- - - - -	52
5-2.	今後の課題	- - - - -	53
参考文献		- - - - -	55
謝辞		- - - - -	57
資料編			
	消防署データ	- - - - -	62
	アンケート	- - - - -	148

---



---

# 第1章

## はじめに

- 1-1. 研究の背景と目的
  - 1-2. 既往研究と本論文の位置づけ
  - 1-3. 研究手法
-

---

## 第1章 はじめに

### 1-1. 研究の背景と目的

---

建築基準法等の防災に関する法令が整備される以前に建設された歴史的建造物は、近年の文化資源の関心の高まりからそれらの保存・活用の重要性が高まっている。しかし今後、これら歴史的建造物を保存・観光資源としていく際に重要である防災計画の整備状況について所有者側、消防側の双方から研究を行っているものは東京都の事例に関して管見の限りない。

そこで本研究では東京都における文化財（国指定、都指定）、登録有形文化財、都選定歴史的建造物を対象に以下の視点に基づき防災計画の調査を行う。

1. 近年、電池式で安価な火災報知機などが出回り始めたが、このようなものを始めとして、文化財の防災や火災時の初期消火を容易にする工夫がなされているか。
2. 近年、歴史的な文化資源への関心が高まっているが、公開時に火災などが発生した場合の、見学者の避難計画などは立案されているか。
3. 歴史的な建造物には、貴重な美術工芸品が所蔵されている場合がしばしばあるが、火災時に、建物の消火と同時に工芸品を救出する計画などは立案されているか。
4. 地域の消防に図面を提供したり、共同で避難訓練をするなど、万が一の場合に備え、地域の消防署などとの協働体制が構築されているか。

---

## 第1章 はじめに

### 1-2. 既往研究と本研究の位置づけ

---

歴史的建造物の防災に関する研究は数多く存在するが、建築計画や構造に関するもの、保存・活用方法に関する物が多く、消防側、所有者側の双方から防災計画にアプローチしているものは、鳥海らがフランスにおいて行ったもの、後藤、関沢らが奈良県、京都府の寺院を対象に行ったもの以外存在しない。その点からこの研究の独自性は担保されていると言える。

以下に、幾つかの既往研究を紹介する。

- ・鳥海基樹他：フランスに於ける公開文化財建造物の総合的安全計画に関する研究 - 安全性能規定の体系、公的安全アニュアル、ルーアン大聖堂に於ける検証とモデル化 -, 日本建築学会計画系論文集, 第73巻, 第627号, 923-930, 2008-5
- ・鳥海基樹他：フランスに於ける文化財建造物の防犯・防災に関する研究 - 内部専門組織を活用した安全計画のさらなる総合化 -, 日本建築学会計画系論文集, 第74巻, 第66号, 2731-2737, 2009-12
- ・後藤治、関沢愛他：国宝・重要文化財の防災に関する共助体制について - 元福寺、十輪院、福智院を例として -, 日本建築学会大会学術講演梗概集(東北), 2009.8

本論文は以下のような構成となっている。

## 第1章 はじめに

研究の背景と目的、既往研究や本論文の位置づけ、研究手法について述べる。

## 第2章 研究対象の概要と現在の取組み

研究対象のデータ整理を行い、現在行われている他地域での取組みについて述べる。

## 第3章 消防署側からみる防災計画整備

消防署へのアンケート調査、ヒアリング調査を行った結果及び、考察について述べる。

## 第4章 所有者側からみる防災計画整備

対象建造物の現地調査、所有者へのヒアリング調査の結果及び考察について述べる。

## 第5章 総括

消防署側、所有者側の双方をふまえた考察結果と今後の課題について述べる。

図 1-1 に論文構成を表 1-1 に本論文での用語の定義を示す。

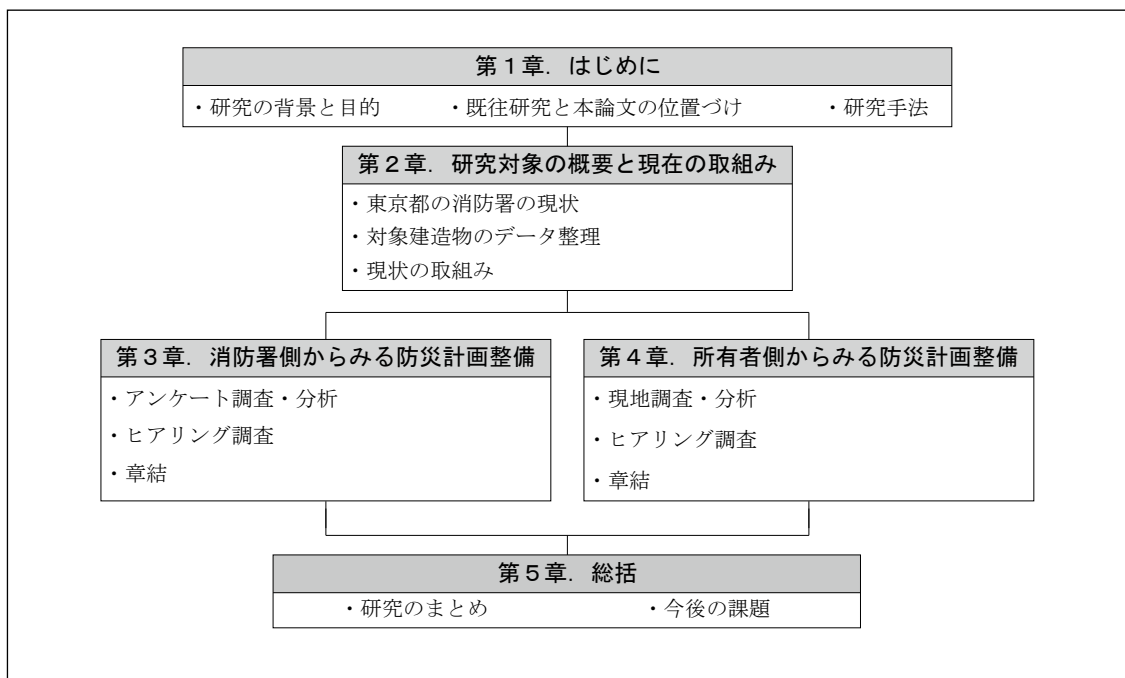


図 1-1

表 1-1

歴史的建造物	今回研究対象とした、国宝・重要文化財（建造物）、国登録有形文化財（建造物）、都指定文化財（建造物）、都選定歴史的建造物のことを指す。
美術工芸品	文化財建造物等の中に所蔵されている絵画、仏像、書物、家具などの事を指す。



---

## 第1章 はじめに

### 1-3. 研究手法

---

以下に本研究の研究手法を示す。

- ①東京都の消防署及び歴史的建造物の基礎データ整理・把握、現在全国の各地で行われている文化財の防災に関する取組みについてを書籍、ウェブサイトを通じた調査を行う。
- ②歴史的建造物が管轄地域内に所在する消防署を対象としたアンケート調査を行い、分析を行った上でヒアリング調査を実施した。
- ③ヒアリング調査の対象消防署管轄の歴史的建造物の現地調査を行い、その後その所有者へのヒアリング調査を行った。



---

## 第2章

### 研究対象の概要と現在の取組み

- 2-1. 東京都の消防署の状況
  - 2-2. 歴史的建造物のデータ整理
  - 2-3. 現在の取組み
-

## 第2章 研究対象の概要と現在の取組み

### 2-1. 東京都の消防署の状況

東京消防庁は、昭和23年3月7日、自治体消防として発足以来、都民の生命、身体及び財産を災害から守るため、島しょ地域と多摩地域の一部（稲城市）を除く東京都のほぼ全域の消防防災業務を担っている。管轄区域を10に分けている。図2-1に方面分けと所在地、表2-1にその内訳を示す。

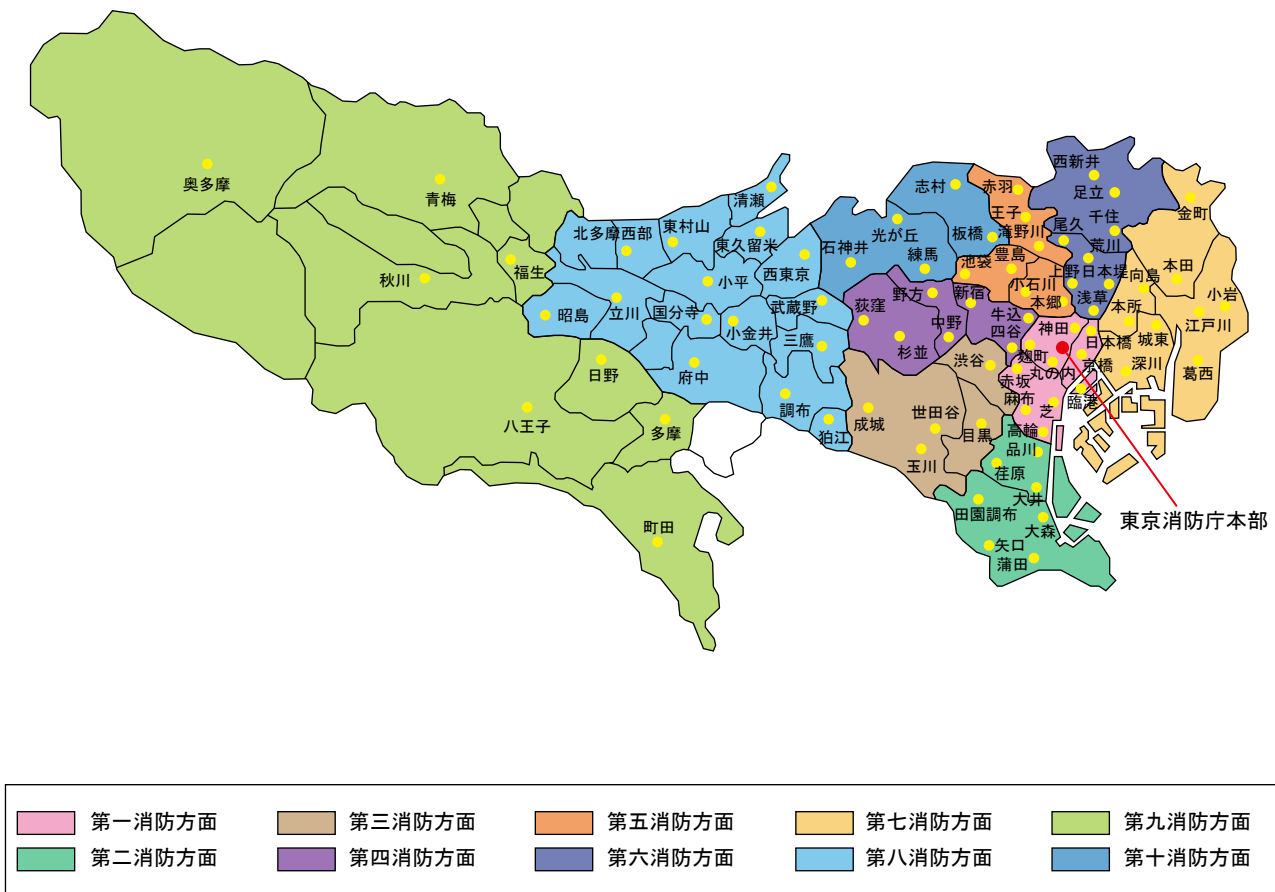


図2-1 消防署の方面分けと所在地

表 2-1 消防署所在地の内訳

方面本部名	市区町村	消防署名	方面本部名	市区町村	消防署名		
第一消防方面本部	千代田区	丸の内消防署	第七消防方面本部	墨田区	本所消防署		
		麴町消防署			向島消防署		
		神田消防署		江東区	深川消防署		
	京橋消防署	城東消防署					
	中央区	日本橋消防署		葛飾区	本田消防署		
		臨港消防署			金町消防署		
		港区		芝消防署	江戸川区	江戸川消防署	
				麻布消防署		葛西消防署	
	赤坂消防署			小岩消防署			
	高輪消防署			第八消防方面本部	立川市	立川消防署	
品川区	品川消防署	国立市					
	大井消防署	武蔵野市	武蔵野消防署				
	荏原消防署	三鷹市	三鷹消防署				
	大森消防署	府中市	府中消防署				
大田区	田園調布消防署	昭島市	昭島消防署				
	蒲田消防署	調布市	調布消防署				
	矢口消防署	小金井市	小金井消防署				
	目黒区	目黒消防署	小平市		小平消防署		
第三消防方面本部	世田谷区	世田谷消防署	東村山市		東村山消防署		
		玉川消防署	国分寺市		国分寺消防署		
		成城消防署	狛江市		狛江消防署		
	渋谷区	渋谷消防署	東大和市		北多摩西部消防署		
第四消防方面本部	新宿区	四谷消防署	武蔵村山市			清瀬市	清瀬消防署
		牛込消防署	清瀬市	清瀬消防署			
		新宿消防署	東久留米市	東久留米消防署			
	中野区	中野消防署	西東京市	西東京消防署	第九消防方面本部	八王子市	八王子消防署
野方消防署		八王子市	八王子消防署				
杉並区	杉並消防署	青梅市	青梅消防署	町田市		町田消防署	
	荻窪消防署	日野市	日野消防署	福生市		福生消防署	
第五消防方面本部	文京区	小石川消防署	羽村市	羽村市			瑞穂町
		本郷消防署	多摩市	多摩市		あきる野市	あきる野市
	豊島区	豊島消防署	日の出町	日の出町		檜原村	秋川消防署
		池袋消防署	奥多摩町	奥多摩町		奥多摩町	奥多摩消防署
北区	王子消防署	第六消防方面本部	台東区	上野消防署		板橋区	板橋消防署
	赤羽消防署			浅草消防署			志村消防署
	滝野川消防署			日本堤消防署	練馬区	練馬消防署	
	荒川区		荒川消防署	光が丘消防署			
足立区	尾久消防署	千住消防署	石神井消防署				
	足立消防署	西新井消防署					
	西新井消防署						

---

東京消防庁の各消防署の出張所、火災発生件数を以下にまとめる。

- ・各消防署には 0～5 署程度の出張所があり、平均 3 署程度の出張所を持っている。本署と出張所で各管轄地域の消防を行っている。
- ・各消防署の管轄地域の昨年の火災発生件数は一桁のところから百件に近い数が起こっているところまであり様々である。特に 23 区を中心では火災が多く起こっている傾向にある。

---

## 第2章 研究対象の概要と現在の取組み

### 2-2. 歴史的建造物のデータ整理

---

平成28年6月の時点での東京都における国宝・重要文化財(建造物)76件、国登録有形文化財(建造物)334件、都指定文化財(建造物)55件、都選定歴史的建造物76件の全541件\*を対象とした。消防署の管轄地域に幾つの歴史的建造物が存在するかをまとめたものが表2-2である。

東京都23区東部にあたる第七消防方面本部と北部にあたる第十消防方面本部に0件の地域が多い事がわかる。逆に、文京区や台東区には多数の歴史的建造物が存在しており、23区部では中心から離れるほどその数が減っていくといえる。

市町村部では0件の消防署も存在はするものの2件と比較的少なく全体に広がっているといえる。三鷹消防署、東久留米消防署、青梅消防署、福生消防署、多摩消防署では10件以上の歴史的建造物を所有しているが、それは学校建築などが多く、一つの敷地内に複数個の歴史的建造物が含まれている場合が多い。

\*東京消防庁の管轄外である稲城市、島しょ部に存在するもの、橋などの所在地が特定できないものは除く。

表 2-2 各消防署の歴史的建造物数

方面本部名	市区町村	消防署名	国宝・重文	登録有形	都指定	都選定	合計
第一消防方面本部	千代田区	丸の内消防署	4	1	1	2	8
		麴町消防署	3	1	2	1	7
		神田消防署	1	13	0	4	18
	中央区	京橋消防署	1	3	0	6	10
		日本橋消防署	4	4	0	6	14
		臨港消防署	0	0	0	0	0
	港区	芝消防署	5	19	1	0	25
		麻布消防署	0	1	0	2	3
		赤坂消防署	1	1	1	0	3
高輪消防署		3	4	0	4	11	
第二消防方面本部	品川区	品川消防署	0	1	2	0	3
		大井消防署	0	0	0	0	0
		荏原消防署	0	1	0	0	1
	大田区	大森消防署	2	6	0	0	8
		田園調布消防署	0	13	0	0	13
		蒲田消防署	0	0	0	0	0
		矢口消防署	0	1	0	0	1
第三消防方面本部	目黒区	目黒消防署	3	16	3	0	22
	世田谷区	世田谷消防署	1	10	1	1	13
		玉川消防署	0	0	0	1	1
	成城消防署	0	8	0	2	10	
渋谷区	渋谷消防署	2	7	1	1	11	
第四消防方面本部	新宿区	四谷消防署	2	0	0	2	4
		牛込消防署	2	9	0	1	12
		新宿消防署	1	6	0	5	12
	中野区	中野消防署	0	1	0	0	1
		野方消防署	0	6	0	0	6
	杉並区	杉並消防署	1	3	3	1	8
荻窪消防署		0	13	0	0	13	
第五消防方面本部	文京区	小石川消防署	4	15	1	0	20
		本郷消防署	2	40	3	3	48
	豊島区	豊島消防署	0	8	2	0	10
		池袋消防署	1	3	0	6	10
	北区	王子消防署	0	0	0	0	0
		赤羽消防署	0	0	0	1	1
滝野川消防署		2	0	0	0	2	
第六消防方面本部	台東区	上野消防署	16	20	1	7	44
		浅草消防署	0	3	0	2	5
		日本堤消防署	3	6	2	0	11
	荒川区	荒川消防署	1	0	0	0	1
		尾久消防署	0	0	0	0	0
	足立区	千住消防署	0	0	0	0	0
		足立消防署	0	1	0	0	1
		西新井消防署	0	0	0	0	0



表 2-2 各消防署の歴史的建造物数

方面本部名	市区町村	消防署名	国宝・重文	登録有形	都指定	都選定	合計
第七消防方面本部	墨田区	本所消防署	0	2	0	2	4
		向島消防署	0	0	0	0	0
	江東区	深川消防署	2	6	0	1	9
		城東消防署	0	0	0	0	0
	葛飾区	本田消防署	0	0	0	0	0
		金町消防署	0	0	0	2	2
	江戸川区	江戸川消防署	0	0	0	0	0
		葛西消防署	0	0	0	0	0
		小岩消防署	0	0	0	0	0
第八消防方面本部	立川市	立川消防署	0	8	0	0	8
	国立市						
	武蔵野市	武蔵野消防署	0	1	0	0	1
	三鷹市	三鷹消防署	0	22	0	0	22
	府中市	府中消防署	0	1	3	4	8
	昭島市	昭島消防署	0	0	1	0	1
	調布市	調布消防署	0	8	0	0	8
	小金井市	小金井消防署	0	0	2	0	2
	小平市	小平消防署	0	0	0	1	1
	東村山市	東村山消防署	1	0	0	0	1
	国分寺市	国分寺消防署	0	2	0	0	2
	狛江市	狛江消防署	0	0	0	0	0
	東大和市	北多摩西部消防署	0	0	1	1	2
	武蔵村山市						
	清瀬市	清瀬消防署	0	0	0	0	0
	東久留米市	東久留米消防署	0	7	0	5	12
西東京市	西東京消防署	0	2	1	0	3	
第九消防方面本部	八王子市	八王子消防署	0	0	6	0	6
	青梅市	青梅消防署	4	2	10	0	16
	町田市	町田消防署	1	0	2	0	3
	日野市	日野消防署	2	0	1	1	4
	福生市	福生消防署	0	16	2	0	18
	羽村市						
	瑞穂町						
	多摩市	多摩消防署	0	9	2	0	11
	あきる野市						
	日の出町						
	檜原村	秋川消防署	1	2	0	0	3
奥多摩町	奥多摩消防署	0	0	0	1	1	
第十消防方面本部	板橋区	板橋消防署	0	0	0	0	0
		志村消防署	0	0	0	0	0
	練馬区	練馬消防署	0	2	0	0	2
		光が丘消防署	0	0	0	0	0
		石神井消防署	0	0	0	0	0
合計		81 消防署	76	334	55	76	541

消防署にはそれぞれ管轄地域の特性（以下、管内特性）が存在する。そこで1署あたりの管轄地域の面積の狭い23区部、広い市町村部及び、歴史的建造物の数によって分類分けを行った。その分類分けの結果を表2-3に示す。

分類結果から、区部においては約三分の二の消防署に歴史的建造物が所在していることがわかる。また、管轄地域の面積の狭い区部においても10以上の歴史的建造物が所在する消防署も多い。しかし逆に1つもない消防署も多数ある。市町村部においては0件の消防署が2署と比較的少ない。しかし、10以上所在する消防署も少なく全体に散らばっていることがわかる。

10以上の歴史的建造物が存在する消防署を区部多数型、市町村多数型、1～9の歴史的建造物が存在する消防署を区部少数型、市町村少数型と定める。\*

表 2-3 分類結果

	10～	1～9	0
区部	<p>区部多数型 21 消防署</p> <p>神田、京橋、日本橋、芝、高輪 田園調布、目黒、世田谷、成城 渋谷、牛込、新宿、荻窪、小石川 本郷、豊島、池袋、上野、浅草 日本堤、本所</p>	<p>区部少数型 20 消防署</p> <p>丸の内、麹町、麻布、赤坂、品川 荏原、大森、矢口、玉川、四谷 中野、野方、杉並、赤羽、滝野川 荒川、足立、深川、江戸川、練馬</p>	<p>17 消防署</p> <p>臨港、大井、蒲田、王子、尾久 千住、西新井、向島、城東、本田 金町、小岩、赤坂、板橋、志村 光が丘、石神井</p>
市町村部	<p>市町村部多数型 5 消防署</p> <p>三鷹、東久留米、青梅 福生、多摩</p>	<p>市町村部少数型 16 消防署</p> <p>立川、武蔵野、府中、昭島 調布、小金井、小平、東村山 国分寺、北多摩西部、八王子 町田、日野、秋川、奥多摩</p>	<p>2 消防署 2 消防署</p> <p>狛江、清瀬</p>

\*管轄地域に歴史的建造物の存在しない消防署はアンケートの対象外であることからグループ分けから除外した。

## 第2章 研究対象の概要と現在の取組み

### 2-3. 現在の取組み

#### □文化財防火デー

文化庁と消防庁が共催して、1月26日を「文化財防火デー」\*と定め、文化財を火災などから守るために、全国で文化財防火運動を展開し、国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図る取組みを展開している。全国での取組みで特徴的なものを以下に示す。

#### 【岩手県】

行事名称	平成27年度「文化財防火デー」に伴う文化財防火運動
実施機関・日時	平成28年1月26日（火）9:00～11:00
実施場所	常膳寺観音堂（陸前高田市）
主催者	陸前高田市教育委員会、陸前高田市消防本部

陸前高田市教育委員会と陸前高田市消防本部による共同開催で、住職、周辺住民、消防職員、市教育委員会が参加している。住職、周辺住民による119番通報、初期消火、重要物品搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施した。住職が在住していない場合の対策まで考えて行われている。図2-2、図2-3に訓練の様子を示す。



図2-2 避難訓練風景

(引用：http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/hogofukyu/pdf/b\_62\_iwate.pdf)



図2-3 放水訓練風景

(引用：http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/hogofukyu/pdf/b\_62\_iwate.pdf)

【京都府】

行事名称	平成 27 年度文化財防火運動合同消防訓練
実施機関・日時	平成 28 年 1 月 26 日（火）9:30～10:00
実施場所	西本願寺（所有者）
主催者	京都市、西本願寺

主催者は京都市と西本願寺の所有者。参加者は自衛消防隊、文化財防災マイスター、消防団、公設消防団、地元自主防災会（見学）、近隣幼稚園・西本願寺職員（見学）となっている。視閲覧者に対し、訓練風景をテレビジョン放映したり、近隣幼稚園、小学校の自動を防火行事に招待するなどして、多くの人に文化財愛護思想の普及、防火防災意識の向上を呼びかけている。図 2-〇にその訓練風景を示す。

【鹿児島県】

行事名称	第 62 回文化財防火デーに伴う重要文化財「二階堂家住宅」防火防災訓練
実施機関・日時	平成 28 年 1 月 26 日（火）10:00～11:00
実施場所	二階堂家住宅（肝付町）
主催者	肝付町（所有者）（共催：肝付町東部消防署、肝付町教育委員会）

所有者（肝付町）が主催しているもので、参加者は主催者である町職員、入館者、近隣小学校児童、消防署となっている。自動の見学を想定し、子供たちの安全確保のために、避難誘導者の避難誘導方法、経路の検証を改めて行っている。図 2-〇にその訓練風景を示す。



図 2-4 京都市訓練風景

（引用：http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/hogofukyu/pdf/b\_62\_kyoto.pdf）



図 2-5 鹿児島県訓練風景

（引用：http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/hogofukyu/pdf/b\_62\_kagoshima.pdf）

\*文化財防火デー：毎年 1 月 26 日に行われている。昭和 24 年 1 月 26 日に、現存する世界最古の木造建築物である法隆寺（奈良県斑鳩町）の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいている。

出典：文化庁ホームページ（http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/hogofukyu/boka\_day.html）

## □文化庁など

文化庁や独立行政法人国立文化財機構は美術館や博物館の担当者等を対象として文化財保存の研修を行っている。表 2-4 にその概要を示す。

表 2-4 文化財に関する各種研修制度

研修名	主催	期間	対象	研修内容
指定文化財（美術工芸品） 企画・展示セミナー	文化庁	3 日間	指定文化財（美術工芸品）を公開する博物館等の学芸担当者	指定文化財（美術工芸品）の保存・公開に関わる専門的知識技能の研修
博物館・美術館等保存担当学芸員研修	独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所	2 週間	国公立博物館、美術館等の学芸員で、保存部門の担当者	文化財保存に関する基礎的な知識及び技術についての講義・実習

（出典： [http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/hogofukyu/pdf/b\\_62\\_kagoshima.pdf](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/hogofukyu/pdf/b_62_kagoshima.pdf)）

## □文化財防災マイスター

京都市では文化財防災マイスターという制度をつくり、文化財社寺等の観光ガイドを行っている人を対象として文化財防災に関する研修を行っている。以下にその概要を示す。

### 【趣旨】

文化財社寺関係者の防火防災及び救急活動を支援する体制を構築し、文化財に対する災害対応力を高めるため、文化財防災マイスター（防火、防災及び救急の知識を持ち、文化財社寺等における災害発生時に初期消火、応急手当等を行う者で、対象者のうち、文化財防災マイスター研修を終了したもの）の養成を行う。

### 【対象者】

研修の対象者は、文化財社寺等において観光ガイドを行っている者で、以下のものとする。

1. 観光ボランティアガイド
2. 観光タクシーの運転手
3. 観光バスガイド
4. 上記 3 つに掲げるもののほか、消防局長が必要と認める者

（文化財防災マイスター研修要綱より一部抜粋）



---

## 第3章

### 消防署側からみる防災計画整備

- 3-1. アンケート調査の概要
  - 3-2. アンケート結果
  - 3-3. 管内特性について
  - 3-4. ヒアリング調査
  - 3-5. 小結
-

### 第3章 消防署側からみる防災計画整備

#### 3-1. アンケート調査の概要

歴史的建造物が管轄地域内に所在する消防署 62 件を対象として、文化財防災計画、文化財防火デーの取組み、所有者との協働体制などに関するアンケート調査を行い、71%となる 44 件の消防署からの回答を得た。その概要を表 3-1 に示す。

表 3-1 アンケート調査概要

対象	歴史的建造物が管轄地域内にある各消防署		
送付数	62 消防署		
送付日	2016 年 7 月 8 日	締切日	2016 年 7 月 22 日
返信数	44 通	返信率	71%
内容	<p>1. 管轄区域内の文化財など、歴史的に重要な文化資源についてのリストを持っているか。</p> <p>2. 建物に所蔵された美術工芸品の所在は把握しているか。</p> <p>3. 建物の図面や、工芸品の所在場所を示す位置図を持っている建物はあるか。</p> <p>→それらはどのように把握したか。</p> <p>4. 公開時に火災などが発生した場合、見学者の避難計画などに関し、文化財所有者などの相談に乗った案件はあるか。</p> <p>→具体的にどのような計画か。またどのような相談内容だったか。</p> <p>5. 美術工芸品が所蔵されている場合、建物の消火と同時に工芸品を救出する計画などに関し、文化財建造物や美術工芸品の所有者の相談に乗った案件はあるか。</p> <p>→具体的にどのような計画だったか。またどういった相談に乗ったか。</p> <p>6. 文化財建造物や美術工芸品の所有者と協働で防災訓練や避難訓練を実施するなど、万が一の場合に備えた協働体制は構築されているか。</p>		



### 第3章 消防署側からみる防災計画整備

#### 3-2. アンケート結果

##### 1. 管轄地域に所在する文化資源のリストは所持しているか

回答結果を図3-1に示す。

文化財リストを所持していると回答した消防署は34署と8割に近い数となった。このことから消防署側は文化資源の防災に関心を持っているといえる。その入手方法のほとんどが市区町村のホームページや冊子を参考にしているという結果となった。他には市区町村の教育委員会の担当者からの提供などといった回答も存在したが、所有者からの提供してもらったという回答はほとんど存在しなかった。

以下に例外的な回答の内容とその消防署を示す。

- ・都または区に対する火災予防上の実態調査による。(成城消防署)
- ・毎年、管内情勢というものを作成しており、その中で文化財一覧を作っている。官報の告示、報道等で把握し、随時更新を行っている。(豊島消防署)
- ・「文化財の防火に関する安全対策会議」消防署長、各文化財の関係者、消防団長、市教育委員会等で構成される会議の中で提供してもらっている。(昭島消防署)

自主的に情報を集め、リストの作成を行ったり、関係者が集まる場を作るなどの工夫をすることで文化財建造物関係者との関係を作ることの大事であるといえる。

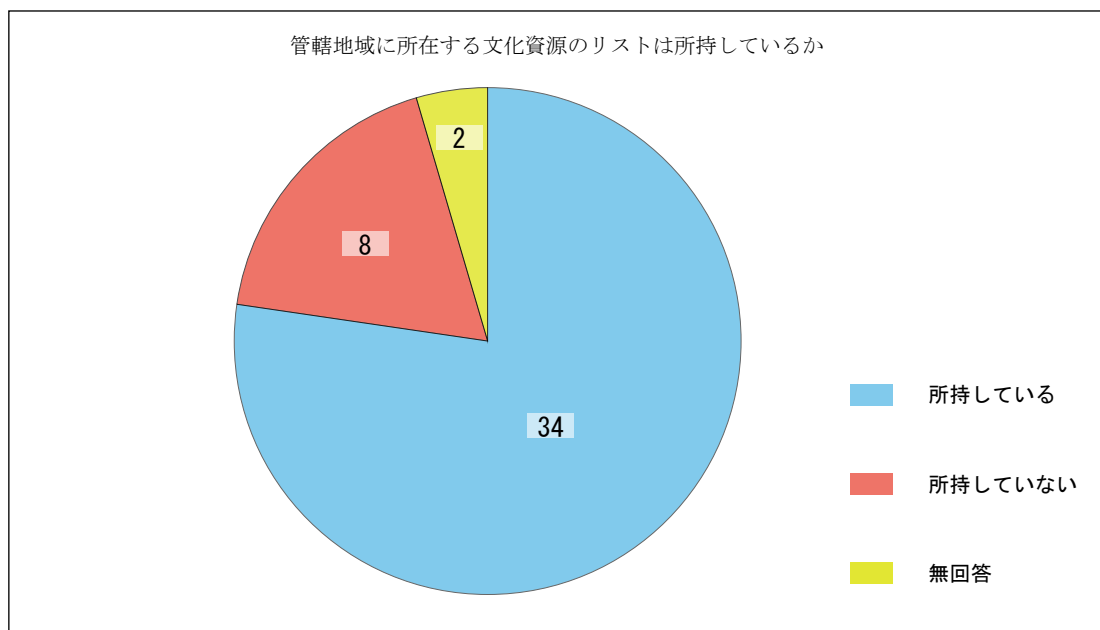


図3-1 1の回答結果

## 2. 建物に所蔵された美術工芸品の所在は把握しているか

回答結果を図 3-2 に示す。

美術工芸品の所在状況を把握できていると回答した消防署は 16 署であり約 35%であった。これは文化財リストの入手方法が市区町村や教育委員会からの提供である事と関係があるといえる。市区町村や教育委員会が公開しているリストは名称や所在地といった基本情報だけである事が多いので、建物の中に文化財指定をうけていない美術工芸品が所蔵されている場合は、把握できていると回答した消防署の多くが所有者からの申し出である事からも、建物所有者からの申し出が必要であるといえる。

以下に例外的な回答の内容とその消防署を示す。

- ・立ち入り検査時に建物関係者から聴取を行っている。(池袋消防署)
- ・文化財所有者に対して、情報の提供をお願いしている。(練馬消防署)

池袋消防署や練馬消防署のように所有者に消防署側から働きかけることで情報提供してもらえる場合もあるので、所有者からの申し出を待つだけでなく、把握しようと行動することが必要となる。

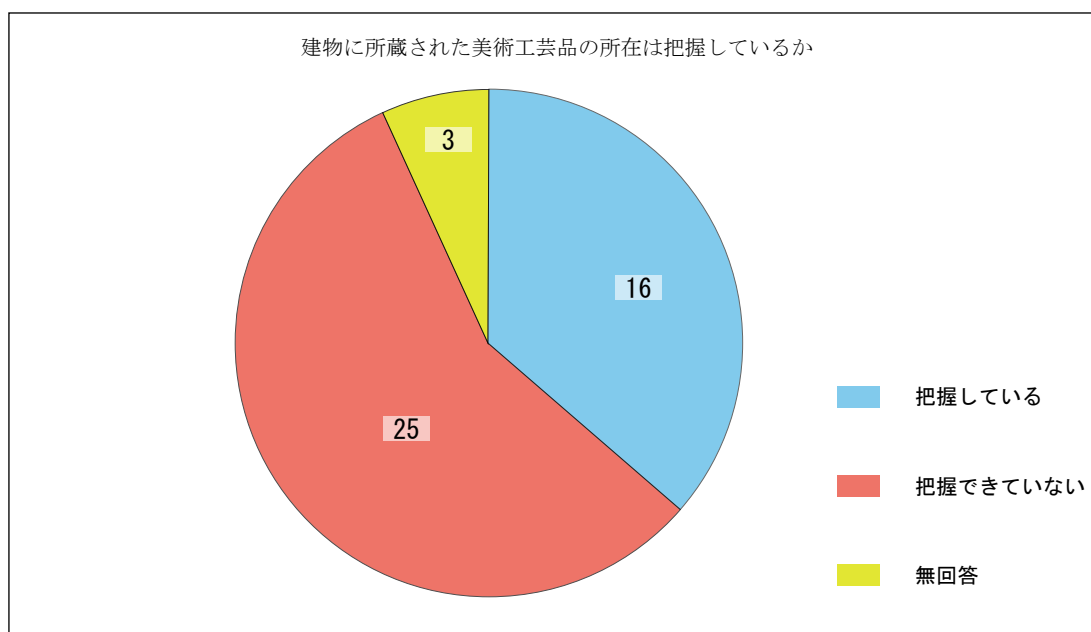


図 3-2 2 の回答結果

### 3. 建物の図面や、美術工芸品の所在場所を示す位置図を持っている建物はあるか

回答結果を図 3-3 に示す。

図面や美術工芸品の所在場所を示す位置図を所持していると回答した消防署は 22 署であり、ちょうど半数であった。文化財リストを所持していると回答した 34 の消防署だけでみれば 65%程度の結果となっている。その入手方法としては法律\*による規定のためという回答が多かった。建物の規模によって消防署に図面の提出の義務があるためである。

以下に主な回答の内容とその消防署を示す。

- ・文化財事態及び文化財が保存されている建物がその規模により消防法で消防用設備等の設置が義務づけられている場合、その設置に際し必要な届け出と共に、添付資料として平面図が消防署に提出される。(武蔵野消防署)
- ・消防法に定める防火対象物としての各種届け出制度に基づき提出された建物図面を有している。(小金井消防署)

基本的に行政手続きのための届出書類であることが多いが、法律上義務のない物件に関しても届出制度を作るなどして消防署との情報の共有を図る事が重要である。

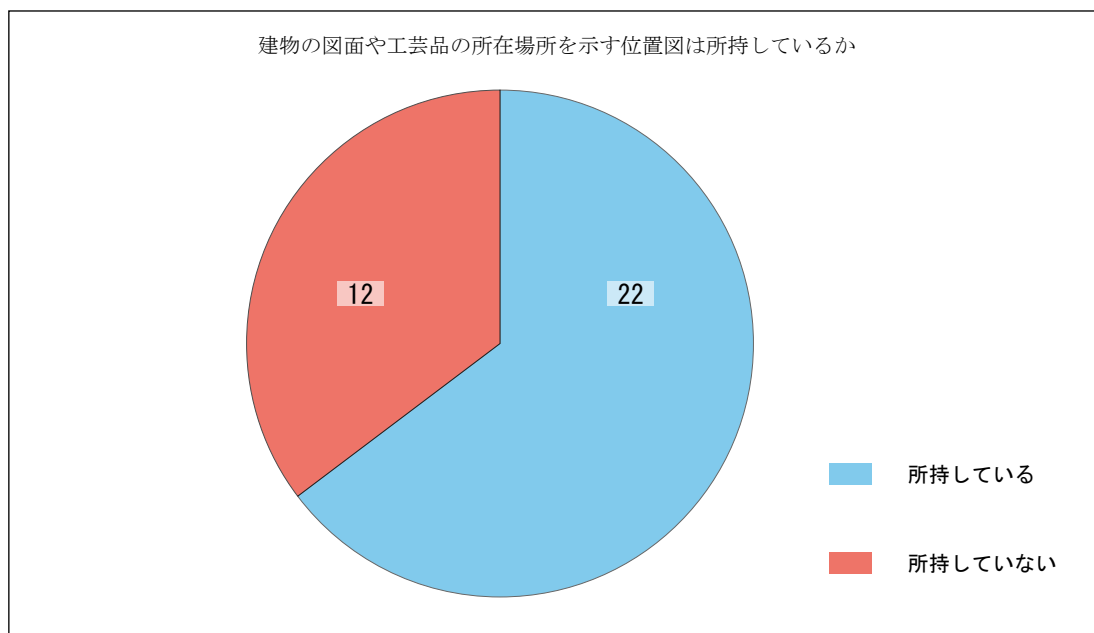


図 3-3 3の回答結果

4. 公開時に火災などが発生した場合、見学者の避難計画などに関して、文化財建造物所有者などの相談に乗った案件はあるか

回答結果を図 3-4 に示す。

避難計画等で所有者の相談に乗ったことがあると回答した消防署は 19 署と半分以下であった。その具体的な相談の内容としては法律上、消防計画の作成の義務のある建物について、作成した消防計画（避難経路、通報、初期消火、自衛消防訓練など）に対して指導や助言を行っているといった回答が多かった。作成の義務のない建物に関しては自衛消防訓練や消防訓練の指導を促進しているという消防署も存在した。

以下に主な回答の内容とその消防署を示す。

- ・消防計画作成時に関係者及び来訪者の避難計画の変更について。（避難ルート等）（神田消防署）
- ・有事の際の在館者への災害状況の伝達方法、避難誘導方法など、少ない関係者で安全かつ確実に実施するために、建物に設置された消防用設備や避難施設等を最大限に活用した避難計画を提示した。（池袋消防署）
- ・消防法第 8 条、消防法施工規則第 3 条に該当する文化財建造物に対しては、防火管理者・消防計画を定めることとなっており、この計画に避難行動等が示されている。該当しない文化財建造物に対しては、自衛消防訓練や消防訓練等の指導を促進している。（練馬消防署）
- ・消防計画を作成する必要がある場合は、作成に際し相談を受け、避難経路を規定し、避難誘導時に対応させるとともに避難経路図を施設内に掲出させている。また、誘導灯や誘導標識等の消防用設備が設置されている場合は、消防機関として設置場所の確認をしている。（日野消防署）

消防署は相談を受けた場合、指導や助言をしっかりと行っているため、所有者側は積極的に消防署を活用し、防災計画の精度をあげるかつ、双方の関係を綿密にすることが重要である

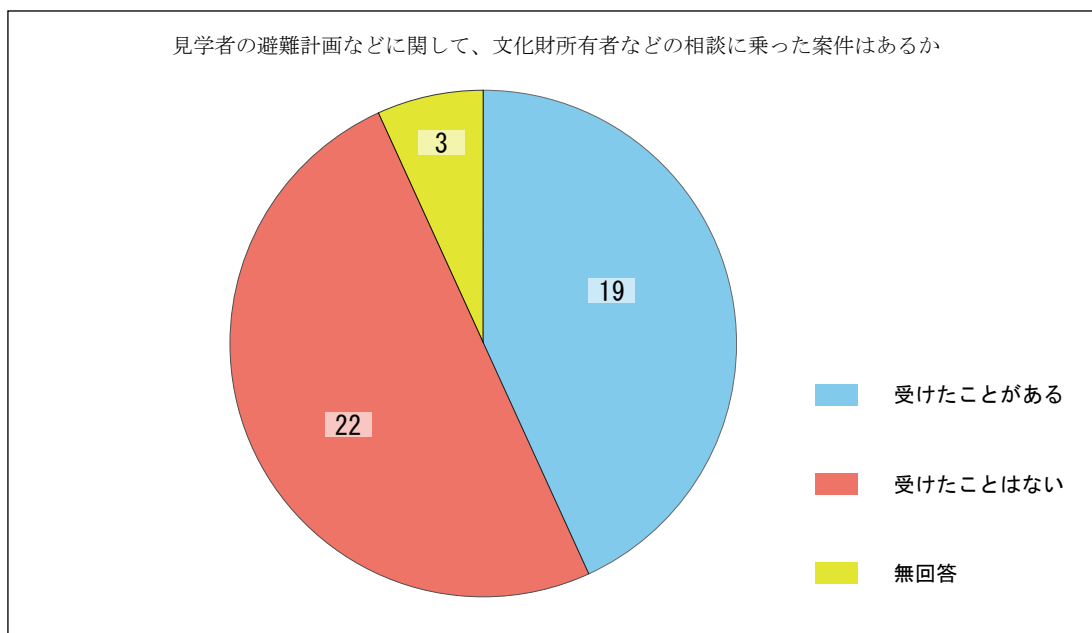


図 3-4 4 の回答結果

5. 美術工芸品が所蔵されている場合、建物の消火と同時に工芸品を救出する計画などに関し、文化財建造物や美術工芸品の所有者等の相談に乗った案件はあるか

回答結果を図 3-5 に示す。

美術工芸品の救出計画についての相談に乗ったことのある消防署は 12 署と 30%以下であった。この結果はそもそも美術工芸品のリストを所持している消防署が少ないためであるといえる。逆に美術工芸品のリストを所持していると回答した 16 署だけなら 4 分の 3 が相談を受けている。そのためまずは美術工芸品が所在されているかどうかの把握をする必要がある。

以下に主な回答の内容とその消防署を示す。

- ・ 119 番通報、初期消火及び在館者への避難誘導を実施しながら、工芸品の持ち出しについて任務分担を消防計画に定め、机上のみならず実際に動くことができるように自衛消防訓練で指導を行った。(池袋消防署)
- ・ 避難訓練を行う際に、消火班と持ち出し班の連携した活動を行い被害の軽減を図るように指導をしている。(府中消防署)
- ・ 毎年、文化財防火デーにおいて、訓練を実施するとともに、工芸品などの搬出方法や搬出経路などの打ち合わせをしている。(国分寺消防署)

相談を受けたことのある消防署の多くが相談に乗るだけでなく、実際の動きを想定した訓練を行っており、それに対しての指導や助言を行っている。

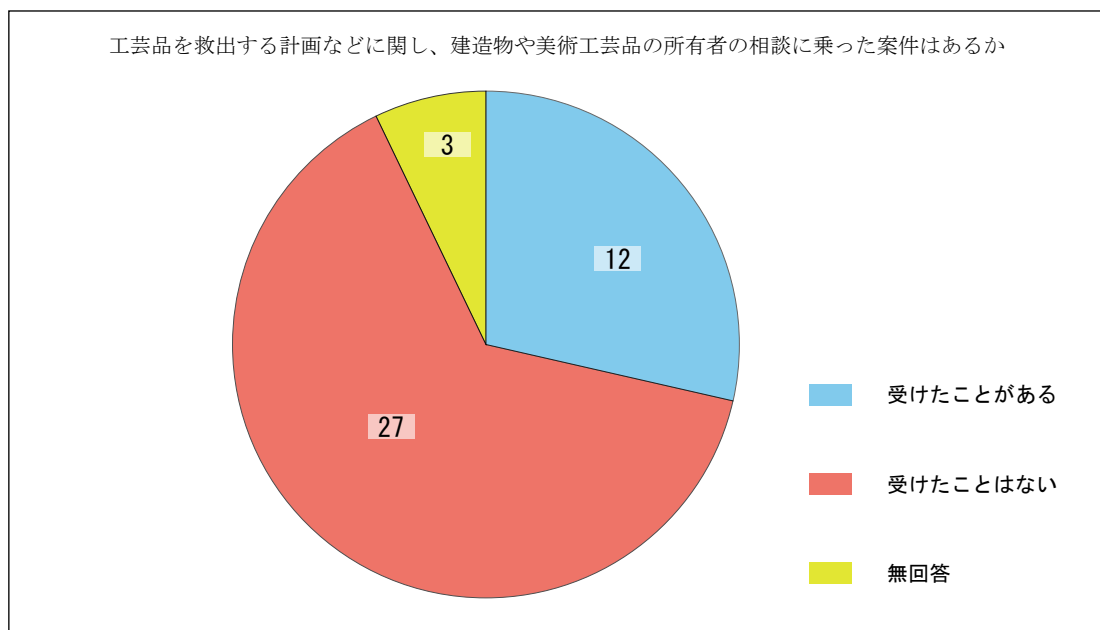


図 3-5 5 の回答結果

#### 4. 歴史的建造物や美術工芸品の所有者と協働で防災訓練や避難訓練を実施するなど、万が一の場合に備えた協働体制は構築されているか

回答結果を図 3-6 に示す。

協働体制が構築できていると回答した消防署は 20 署でほぼ半数であった。その中の約半数程度が文化財防火デーに合わせて所有者と連携した消防演習を行っている。このことから文化財防火デーが所有者や消防署にとって協働で訓練や演習を行う一つのきっかけとなっていることがわかる。

以下に例外的な回答の内容とその消防署を示す。

- ・総合防火防災協議会を開催し、消防活動警棒対策の樹立等を行っている。(京橋消防署)
- ・歴史的建造物の周辺の商店街、町会と応援協定を締結しており、災害時に備えて、消防を合同で連携した訓練を実施している。(金町消防署)
- ・地元自治会と消防を含めた協定を締結し、合同で訓練を実施するようにしている。(昭島消防署)
- ・建物の構造や周囲の消防水利状況を把握するとともに、震災等の災害発生時に迅速に活動できるように市消防団と連携した消防訓練を実施している。(西東京消防署)

文化財防火デー以外でも取組みを行っている消防署は、建物の所有者だけでなく地域の人や地元消防団とも協働体制が構築できていることが多く、緊急時の対策がなされているといえる。

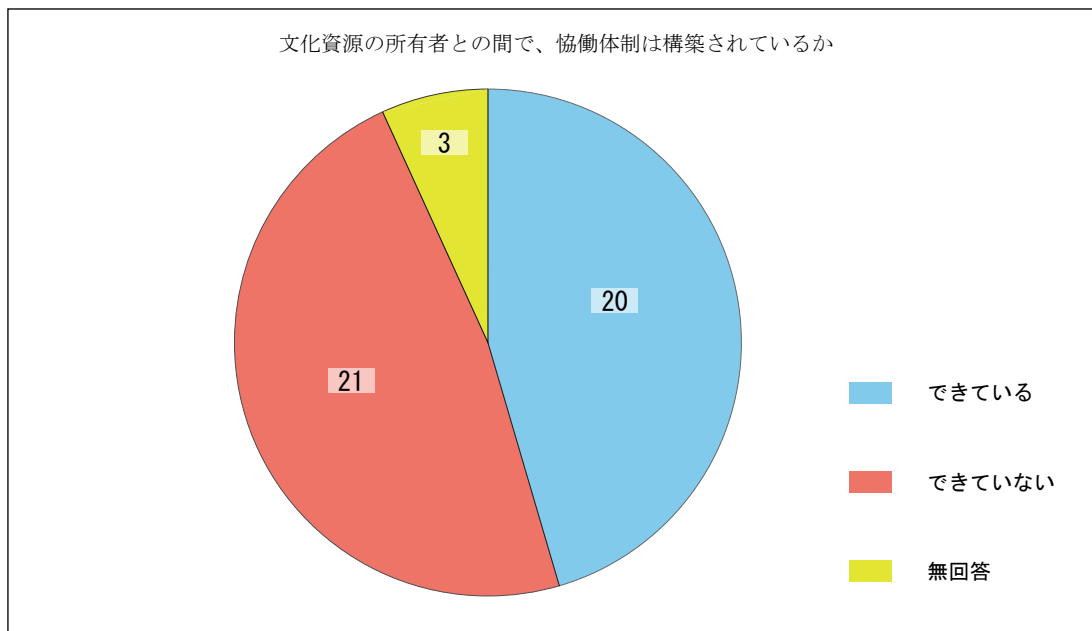


図 3-6 6 の回答結果

---

## 第3章 消防署側からみる防災計画整備

### 3-3. 管内特性について

---

消防署の回答の中には管轄地域の特性（以下、管内特性）が反映されているものがいくつか存在した。そこで第2章、表2-〇で行った分類ごとの回答数を表3-2に、それぞれの分類ごとの回答結果を表3-3に示す。

分類ごとで回答結果に大きな変化は見られなかった。しかし多少ではあるが、返信率に関して区部が低く、市町村部が高い傾向にある。

分類ごとの回答の結果では、全体の割合と比較して市町村部少数型の割合が全体的に高く、区部少数型の割合が低くなっていることがわかる。

以下に各問ごとの傾向を示す。

#### 問1. リストの所持状況

市町村部少数型の消防署が13署中12署が所持していると回答しており、文化財防災に関する消防署の優先順位の高さをみてとることができる。

#### 問2. 所蔵工芸品の把握状況

市町村部多数型で把握できていると回答した消防署が0署と低い値となった。ここでも市町村部少数型は半数以上の消防署が所持している。

#### 問3. 図面等の所持状況

区部が低く、市町村部が高い結果となった。その原因としては市町村部には一つの市町村に一つまたは二つ以上の市町村で一つの消防署であるという点が考えられる。

#### 問4. 避難計画等の相談

この問いに関しても区部が低く、市町村部が高いという傾向がある。

#### 問5. 救出計画等の相談

全体として低い割合となったが、市町村部少数型では6/13署とほぼ半数の消防署が相談を受けたことがあり、所有者側の防災への関心の高さが感じられる。

#### 問6. 協働体制の構築

区部少数型の割合が低くなった。逆に市町村部多数型では3/4の消防署が構築できていると回答しており、所有者と消防署の関係が密になっているといえる。

表 3-2 分類ごとの回答数

	10～	1～9
区部	区部多数型 返信率：61.9% (13/21)	区部少数型 返信率：70% (14/20)
市町村部	市町村部多数型 返信率：80% (4/5)	市町村部少数型 返信率：81.3% (13/16)

表 3-3 分類ごとの回答結果

問 分類	問 1 リストの所持	問 2 工芸品の把握状況	問 3 図面等の所持の有無	問 4 避難計画等の相談	問 5 救出計画等の相談	問 6 共同体制の構築
区部多数型	76.9% (10/13)	41.7% (5/13)	38.5% (5/13)	38.5% (5/13)	23.1% (3/13)	53.8% (7/13)
区部少数型	64.3% (9/14)	28.6% (4/14)	28.6% (4/14)	14.3% (2/14)	14.3% (2/14)	28.6% (4/14)
市町村部多数型	75% (3/4)	0% (0/4)	75% (3/4)	75% (3/4)	25% (1/4)	75% (3/4)
市町村部少数型	92.3% (12/13)	53.8% (7/13)	76.9% (10/13)	69.2% (9/13)	46.2% (6/13)	46.2% (6/13)
全体	77.3% (34/44)	36.4% (16/44)	50% (22/44)	43.2% (19/44)	27.3% (12/44)	45.5% (20/44)

(表中のパーセンテージは各設問に対し「はい」と答えた割合)



### 第3章 消防署側からみる防災計画整備

#### 3-4. ヒアリング調査

先述のアンケート結果の中でヒアリング調査対応可能と答えていただいた消防署の中から、その分析の結果を踏まえて、区部多数型の池袋消防署と市町村部少数型の町田消防署を選定しヒアリング調査を実施した。表3-4にその概要を表3-5に池袋消防署と町田消防署の基礎データを示す。

表 3-4 ヒアリング調査概要

池袋消防署	町田消防署
ヒアリング調査概要	
2016年12月14日 於 池袋消防署 自衛消防隊担当 佐藤様	2016年12月20日 於 町田消防署 加藤様

表 3-5 消防署基礎データ

	池袋消防署	町田消防署
人口	136,892 人	428,565 人
面積	6.191 km <sup>2</sup>	71.8 km <sup>2</sup>
人口密度	22,111.5 人 / km <sup>2</sup>	5,968.9 人 / km <sup>2</sup>
出張所	長崎・高松	忠生・南・鶴川・西町田・成瀬
火災発生件数	29 件 (H.28)	116 件 (H.28)
歴史的建造物	自由学園明日館・旧丹羽家住宅蔵 金剛院庫裏・金剛院本堂 立教大学 本館・立教大学 図書館旧館 立教学院諸聖徒礼拝堂 立教大学第1 食堂・立教大学 2 号館 立教大学 3 号館	旧永井家住宅 旧荻野家住宅 妙福寺祖師堂

---

以下にヒアリング調査を実施した二つの消防署の管内特性について示す。

#### 【池袋消防署】

東京の北部、豊島区にあり、ほぼ中央を走る山手線を境に西側区域に位置している。その地域を本署、長崎・高松の各出張所で管轄している。駅西口周辺は、大小のビルが集中する繁華街となっている。また近年は特に再開発による人口の増加や建物の著しい複雑多様な変化により潜在危険が増大し、さらには、放火火災も多く発生している。管内全域をみると、繁華街から一歩出ると新旧防火造の店舗、住宅等が混在し、火災等有事に延焼拡大する危険性の多い地域である。



図 3-7 池袋消防署

写真引用：東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ikebukuro/index.html>)

#### 【町田消防署】

町田消防署は、東京の南部、町田市にあり、その南部区域に位置している。その地域を本署、忠生・南・鶴川・西町田・成瀬の各出張所で管轄している。主要の駅である町田駅は JR、私鉄が乗り入れている。駅前には商業施設が集中している一方、少し外れると閑静な住宅街が広がり、その奥には山々が広がっている。特徴としては管内の面積が 71.8 km<sup>2</sup>と広いことがあげられる。



図 3-8 町田消防署

写真引用：東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-matida/syoukai/honsho.html>)

---

以下にヒアリング内容とその答えを示す。

**【池袋消防署】**

Q. 管内の防災の優先順位について。

A. 池袋消防署では現在、池袋駅西口の繁華街の防災が最優先事項となっており、歴史的建造物の防災は第一優先とはなっていない。その他にも木造住宅地域の防災やることがたくさんある。上野周辺のように歴史的建造物が多数存在するところなどとは異なり、最重要にはできない。

Q. 文化財リストの入手方法について。

A. 基本的には区役所の作成しているリストを参考にしている。消防同意という形で図面を所持している建物もあるが、それは新しい建物に多く歴史的建造物の古い図面などは持っていない。

Q. 避難計画などの具体的な相談内容について。

A. 消防署に相談のあった案件に関しては、有事の際の在館者への災害情報の伝達方法や避難誘導方法など、少ない関係者でかつ安全に実施できるような避難計画を提示した。

Q. 自衛消防訓練について。

A. 自衛消防訓練は基本的に防火管理者や建物所有者が主体となって行うものであり、消防署側から自主的に参加を申し出ることは基本的にはない。しかし、その主催者からの要望があれば消防職員が出向いて指導や助言を行うこともある。また、自衛消防訓練を行う際には、合わせて消防訓練をお願いすることもある。

Q. 文化財防火デーに関する取組みについて。

A. 文化財防火デーが定められてから毎年取組みを行っている。今までには「重林寺」\*や「自由学園明日館」などで開催した。文化財防火デーでは自衛消防訓練とは異なり、消防署の方から開催を提案したり、お願いすることもある。池袋消防署では普段、人の少ないお寺などで行うことが多く、地域住民や来訪者までを含めたものとする必要のないことが多いため、その人たちを含めた取組みとはなっていない。今年は開催の予定はない。

Q. 美術工芸品の救出計画の相談内容

A. 自衛消防訓練の際に、美術工芸品に見立てた箱などを使用して、実際に災害時に動けるように持ち出しの訓練などを行い、その際に消防職員も参加し指導、助言を行った。「重林寺」等で訓練を行ったことがある。

Q. 消防署として文化財防災について考えている事

A. 消防署としてはやはり火災の際には消火と人命が第一であり、歴史的建造物を残す事はその次になってしまう。しかし、必要以上に水をかけないなどの事は考え、実行するようにしている。

\*重林寺：池袋消防署管轄内にある真言宗豊山派の寺院。内部に豊島区指定文化財の「木造聖観音立像」が所蔵されている。

---

【町田消防署】

Q. 管内の防災の優先順位について。

A. 町田消防署の特徴としては面積がとても広いことがあげられる。その面積を本署を含めた 6 つの消防署でカバーしなければならないので、歴史的建造物の数が少ない事もあり、今は住宅街の防災の優先度が高くなっている。

Q. 文化財リストの入手方法について。

A. 基本的には市役所の公開しているリストを参考にしている。管轄地域内には歴史的建造物が 3 件ある。3 件とも法令上、防火管理者を定めたり消防署への図面の提供の必要はないが、そのうち 1 件は自主的に図面などを提供してくれている。

Q. 避難計画などの具体的な相談内容について。

A. 文化財には消防用設備（火災報知器、熱感知器等）の設置が義務づけられている。文化財登録の際に各自治体が消防用設備等に関して調査したものを消防署による点検という形で確認を行っている。

Q. 自衛消防訓練について。

A. 自衛消防訓練は法律上、一定規模以上の施設では年に一回以上行う義務が生じる。その際に防火管理者からの要請があれば、消防職員が出向いてその取組みについての指導や助言を行うこともある。しかし、実際には消防職員よりも地域とつながりの強い消防団員が出向くことが多い。

Q. 文化財防火デーに関する取組みについて。

A. 文化財防火デーが定められた年から毎年取組みを行っている。しかし、地域住民や来訪者を巻き込んで行っているものではなく、所有者と防火管理者、地域の消防団員、消防職員が参加しているものである。それができない理由としては、あまりに多くの人に来られても所有者や近隣の住民に迷惑がかかってしまうためである。今年「寶泉寺」\*で開催する予定である。

Q. 図面等を使用した防災計画を立てることはないのか。

A. 基本的に文化財指定されているとはいっても所有者のものであり、図面などの提供をするかどうかはその所有者に決定権がある。現状としては消防演習の際に指導や助言を行うことしか今はできないし、していない。

Q. 消防署として文化財防災について考えている事

A. 文化財には人が在住していない場合が多いので、「無人直接通報」\*制度の利用を促進することで発見を早めるなどの工夫を行っている。

---

\*寶泉寺（ほうせんじ）：町田消防署管内にある臨濟宗建長寺派の寺院。内部に町田市指定有形文化財の「寶泉寺木造釈迦如来座像」「寶泉寺十六羅漢図」が所蔵されている。

\*無人直接通報：夜間等に無人になると建物に設置してある自動火災報知設備が作動すると、火災通報装置から自動的に所在、名称が 119 番通報されるもの。

---

## 第3章 消防署側からみる防災計画整備

### 3-5. 小結

---

消防署へのアンケート調査・分析、ヒアリング調査を通して以下のことを把握した。

- ・消防署にはそれぞれの管轄地域の特徴があり、それにより真っ先に取り組まなければならないことが決定するので、歴史的建造物の防災の優先順位は決して高くなるわけではない。
- ・歴史的建造物は個人の所有物であるために、消防署と協働体制を構築を図ったり、図面の提供をしたり、工芸品の所在を教えることは、一部の法令を除くと完全に所有者に決定権があるため、消防署としては協力を促す事しかできない。自主的にそのような事を行っている所有者はいたもののまだまだ数が少ないのが現状である。
- ・自衛消防訓練に消防職員が出向いて指導や助言を行うことで、実際の訓練の様子や消防計画がうまく機能しているかの確認ができているといえる。



---

## 第4章

### 所有者からみる防災計画整備

- 4-1. 現地調査
  - 4-2. 調査結果
  - 4-3. ヒアリング調査
  - 4-4. 小結
-

---

## 第4章 所有者側からみる防災計画整備

### 4-1. 現地調査

---

平成28年12月上旬から平成29年1月上旬にかけて歴史的建造物の防災計画、及び美術工芸品の有無等に関する現地調査を数回に分けて実施した。対象はヒアリング調査を行った消防署の管轄地域に所在する歴史的建造物13件を対象とした。その概要を表4-1に示す。

表4-1 現地調査概要

対象	ヒアリング調査を行った消防署管轄の歴史的建造物
対象件数	13件
調査日	2016年12月下旬～2017年1月上旬
内容	1. 内部の見学や開放は行われているか。 2. 美術工芸品は所蔵されているか。 3. 消防用設備は設置されているか。また、その種類や数はどうなっているか。 4. 避難経路図は建物内に掲示されているか。またそれは来訪者にとってわかりやすいものであるか。 5. 消防演習等は行われているか。 6. 管轄の消防署との間で、協働体制は構築されているか。



## 第4章 所有者側からみる防災計画整備

### 4-2. 現地調査結果

前節で述べた現地調査の結果とその建物の基本情報についてまとめたものを表4-2に示す。

表4-2 現地調査結果

	建物名	指定区分	延床面積	構造	所有者	内部見学	美術工芸品	消防用設備	避難経路図	外観写真
池袋消防署	自由学園明日館	重要文化財	834 m <sup>2</sup>	木造	学校法人 自由学園	○	○	○	○	
	旧丹羽家住宅蔵	登録有形 文化財	25 m <sup>2</sup>	RC造	学校法人 自由学園	○	○	○	×	
	金剛院庫裏	登録有形 文化財	304 m <sup>2</sup>	木造	宗教法人 金剛院	×	-	-	-	
	金剛院本堂	登録有形 文化財	112 m <sup>2</sup>	SRC造	宗教法人 金剛院	×	-	-	-	
	立教大学 本館	都選定 歴史的建造物	1,857.4 m <sup>2</sup>	れんが造	学校法人 立教学院	△	×	○	△	
	立教大学 図書館旧館	都選定 歴史的建造物	823.8 m <sup>2</sup>	れんが造	学校法人 立教学院	×	×	○	×	
	立教大学諸聖徒礼拝堂	都選定 歴史的建造物	505.3 m <sup>2</sup>	れんが造 (一部S造)	学校法人 立教学院	△	○	○	×	
	立教大学 第1食堂	都選定 歴史的建造物	998.4 m <sup>2</sup>	れんが造	学校法人 立教学院	×	×	○	×	
	立教大学 2号館	都選定 歴史的建造物	823.8 m <sup>2</sup>	れんが造	学校法人 立教学院	×	×	○	×	
	立教大学 3号館	都選定 歴史的建造物	823.8 m <sup>2</sup>	れんが造	学校法人 立教学院	×	×	○	×	
町田消防署	旧永井家住宅	重要文化財	不明	木造	町田市	○	○	○	△	
	旧荻野家住宅	都指定 文化財	145.53 m <sup>2</sup>	木造	町田市	○	○	○	△	
	妙福寺祖師堂	都指定 文化財	不明	木造	宗教法人 妙福寺	-	-	-	-	

### 【内部見学】

内部見学が可能となっているのは4件であった。その他に公開はされていないが立ち入ることのできる施設も2件存在した。公開を行っている事例では内部に美術工芸品などを置くことで来訪者を増やし、観光資源としての活用を図っていた。公開されていない事例は現在も使用中であり、活用されているといえる。どちらも歴史的建造物をただ単に保存するだけでなくなんらかの方法で活用していく工夫が感じられた。図4-1、図4-2に内部空間を示す。



図4-1 立教大学本館内部

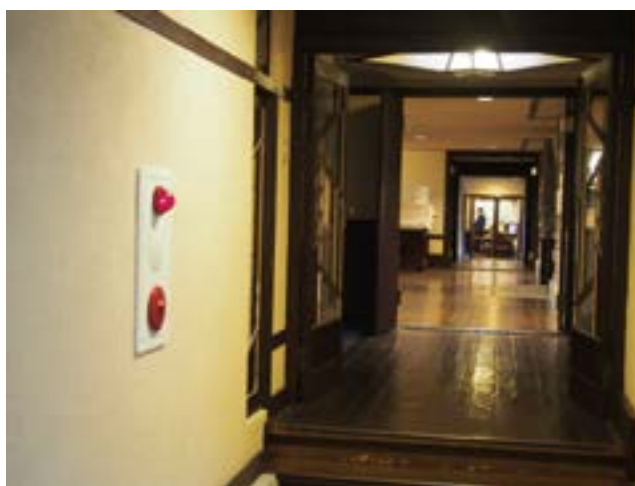


図4-2 自由学園明日館内部

---

### 【美術工芸品】

美術工芸品の所在が確認できたのは内部空間を確認する事のできた 10 件中 5 件であった。文化財指定されているものはなかったが、歴史的に重要であったり、その建築にゆかりのある、書物や家具、絵画などが置かれていた。図 4-3、図 4-4 にその美術工芸品を示す。



図 4-3 家具など



図 4-4 書物

### 【消防用設備】

消防用の設備が設置されていたのは10件で、火災報知機や煙感知器などの簡易的なものが多いといえる。また、重要文化財に指定されている2件では消火栓の設置が見られた。文化財の指定を受けている事例ではその設置が義務づけられている。他では延床面積の広いものにはもちろん、比較的狭いものにも設置されており、簡易的な設置できることがその促進が図られていると考えられる。図4-5～図4-8に設置されていた消防用設備を示す。



図4-5 煙感知器



図4-6 消火器



図4-7 非常警報装置



図4-8 火災報知器

### 【避難経路等の掲示】

避難経路図が建物内に掲示されていたのは1件であった。その他に来訪者または使用者のための避難誘導標識等の設置が見られた事例は4件、建物の平面図が掲示されていたのは3件であった。延床面積の広い事例や重要文化財に平面図が掲示されていた。しかし、掲示されていた避難経路図や避難誘導標識も来訪者や使用者にとってわかりやすいとは感じられなかった。避難経路が示されているだけの簡易的なもので、数も少なく、初期消火をするための工夫（消火器や非常警報設備の位置等）はなされていない。また見学の動線から見ても目に留まるものとはなっていない。図4-9～図4-12に避難促進の設備を示す。



図4-9 避難経路図（自由学園明日館）



図4-10 平面図（立教大学本館）



図4-11 避難誘導標識

### 【避難経路図】

以下の図 4-12 に自由学園明日館の平面図を示す。そこに来訪者の見学動線と避難誘導経路図や避難誘導標識、非常警報装置、消火器などの見学者が使用する可能性のある設備等を示した。避難経路図は見学動線に沿って設置されていたものの、1箇所にはなく、また消火器や非常警報設備等の位置は示されていない。また、避難誘導標識も全ての出口には設置されていない。これらのことから見学に来た人はこのような設備の存在自体に気付いていない可能性があり、緊急時に迅速な避難ができる可能性は低いと考えられる。

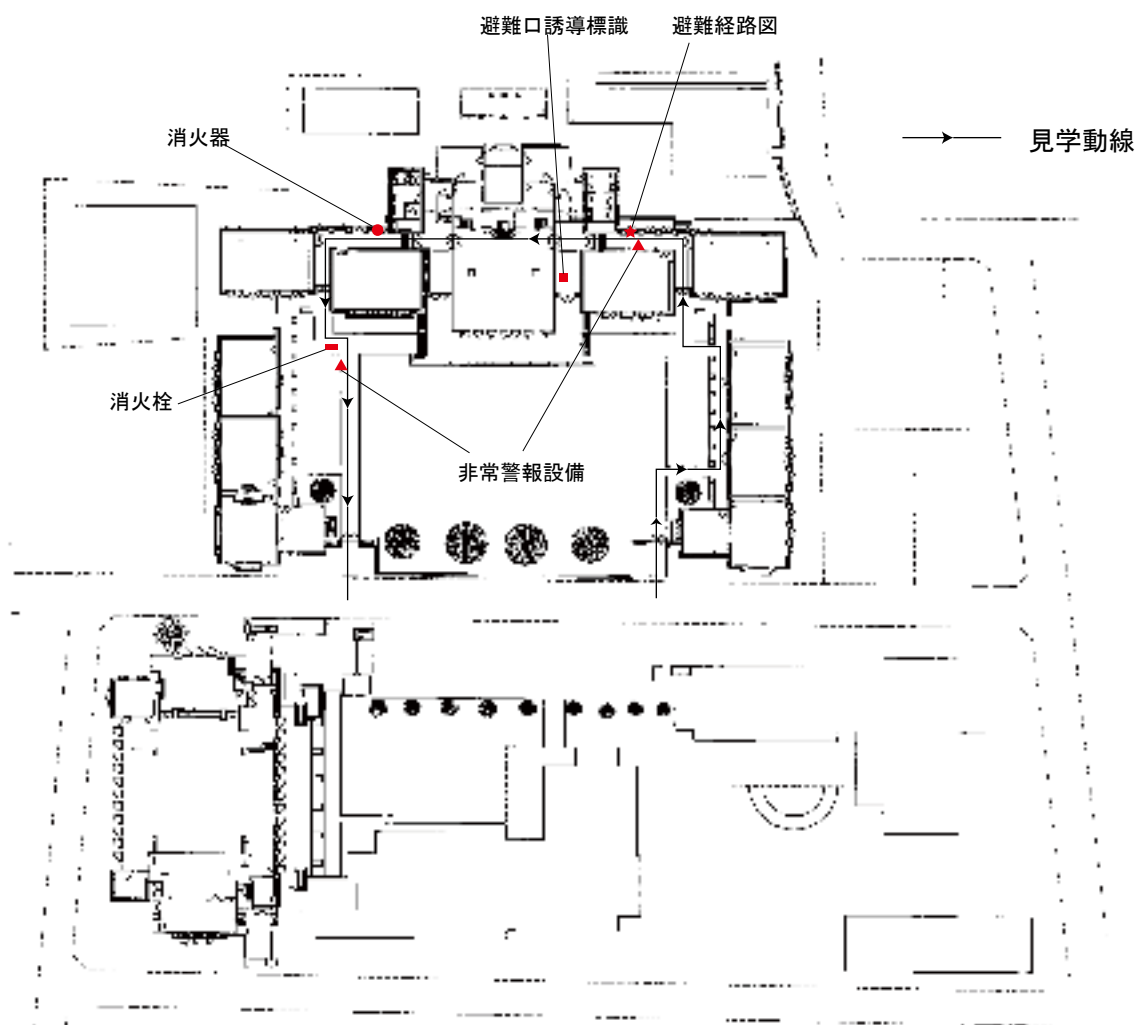


図 4-12 自由学園明日館平面図

---

## 第4章 所有者側からみる防災計画整備

### 4-3. ヒアリング調査

---

現地調査を行った事例の中で自由学園明日館の所有者へのヒアリング調査を実施した。その概要を表4-3に示す。

表4-3 ヒアリング調査概要

自由学園明日館
ヒアリング調査概要
2017年1月10日 於 自由学園明日館
質問項目
1. 火災時などの初期活動を容易にする工夫はしているか。 →設置は自費であったか。今後設置の予定はあるか。
2. 建物の図面は所持しているか。 →その図面に防災設備や美術工芸品の位置は記載されているか。
3. 近隣の消火栓の位置は把握しているか。
4. 見学者の避難計画は立てられているか。同時に工芸品の救出計画は立てられているか。
5. 管轄地域の消防署に図面の提供をするなどして協働体制の構築はされているか。
6. 自衛消防訓練等の消防演習はどの程度行っているか。

---

以下に、ヒアリング内容とその回答を示す。

【自由学園明日館】

Q. 初期消火を容易にする工夫はなされているか。

A. 初期消火のための消防用の設備は「火災報知機」「熱感知器」「煙感知器」「スプリンクラー」が設置されている。

Q. その設置は自費であったか。それとも公費などの助成金があったか。

A. 設置は建物の老朽化に伴う建て替え工事と同時に行われ、その際既に文化財指定を受けていたために、国や都、区の助成金を受けた。

Q. 建物の図面の所持の有無

A. 建物の図面は文化財登録後に改修工事が行われた際に調査をしたため改修の前後ともに所持している。消防用の設備は詳細図にのみ記載されており、美術工芸品の位置の記載はされていない。

Q. 消火栓の位置は把握しているか。

A. 建物の敷地面積が広いために敷地内に消火栓やポンプが設置されている。そのために把握できている。

Q. 避難計画の立案、美術工芸品の救出計画は立案されているか。

A. 自由学園明日館では法令上の規制により避難計画の立案の義務がある為に、避難計画は立てられている。美術工芸品の救出計画に関しては、書物や家具など建物にゆかりのある歴史的に重要であるものも多数存在するが、どれも文化財の指定を受けていないこともあり立案されていない。

Q. 消防署との協働体制は構築されているか。

A. 管轄の池袋消防署と一緒に自衛消防訓練を行うなどして協働体制の構築はされている。しかし、消防用設備の設置場所であったり、美術工芸品の所在に関してまでは把握できていない。

Q. 消防演習は行っているか。

A. 自衛消防訓練は池袋消防署と協働して行っている。近隣の幼稚園児を招くなどして、放水訓練を行う事が多いが来訪者までを含めた避難訓練などはあまり行っていない。



---

## 第4章 所有者側からみる防災計画整備

### 4-4. 小結

---

本章では歴史的建造物の現地調査、所有者へのヒアリング調査を通して以下のことを把握した。

- ・文化財指定されているものや建物規模によっては自衛消防訓練や消防用設備の設置義務が生じるため、歴史的建造物の防災はある程度進んでいるといえる。
- ・消防用設備はそれ自身が目立つ事のないように隠されていたり、その建物の雰囲気と調和のとれたものとなっている事が多い。
- ・自主的に図面の提供を行うなどして消防署との防災計画の共有を図ろうとしている所有者は少ない。
- ・自衛消防訓練を行う際には消防署への届け出が必要となるため、それと同時に消防職員に参加をお願いし協働で開催している場合が多い。



---

## 第5章 総括

- 5-1. まとめ
  - 5-2. 今後の課題
-

---

## 第5章 総括

### 5-1. まとめ

---

本研究では、歴史的建造物の防災計画を消防側、所有者側の双方の視点で分析を行い以下の事を明らかとした。

- ・法令などの制限を除くと、歴史的建造物であったとしても図面の届け出や消防用設備の設置などの規制がなく、完全に建物や美術工芸品の所有者の意思に依存しているといえる。そしてそれを自主的に行っている所有者は少ない。
- ・文化財防火デーや自衛消防訓練は法令上の義務がある為に行っているところが多く、所有者や防火管理者と消防職員及び消防職員のための簡易的な取組みとなっている事が多い。
- ・文化財指定を受けている美術工芸品に関しては救出計画を立案したり、救出の訓練を行っている場合もあるが、受けていない物に関しては対策が全くなされていない場合が多い。

---

## 第5章 総括

### 5-2. 今後の課題

---

本研究の結果を踏まえて、歴史的建造物の防災計画の今後の課題について以下に述べる。

- ・ 今後、歴史的建造物を観光資源や使用を続けるなどとして利用していくために保存をしていくのであれば、消防署や地域の消防団との連携が必要であるため、図面提出等の規制を作るなどして所有者の防災意識の向上を図る事が必要となる。
- ・ 消防演習や自衛消防訓練に関しても所有者と消防職員だけで行うものではなく、地域の住民や来訪者までを含めた取組みとする事が望ましい。しかし実際には日程や人数といった問題で難しいことも多いのでポスターやウェブサイトを活用して告知を行うなどして、訓練が実施されている事だけでも知ってもらう必要がある。
- ・ 歴史的建造物の規模にもよるが、避難計画を立案するだけでなく、その避難経路をわかりやすく建物内に掲示することで、所有者だけでなく来訪者にも共有を行わなければならない。



---

## 参考文献

---

### 主要参考文献

- 1) 消防法規研究会編：「平成 28 年度新版 消防基本六法」，東京法令出版，2016. 3. 31
- 2) 文化庁 国指定文化財等データベース ([http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index\\_pc.asp](http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index_pc.asp)) 2017 年 1 月閲覧
- 3) 東京都文化財情報データベース (<http://bunkazai.metro.tokyo.jp/>) 2017 年 1 月閲覧
- 4) 東京都都市整備局ホームページ  
([http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kenchiku/keikan/list\\_rekisi.htm](http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kenchiku/keikan/list_rekisi.htm)) 2017 年 1 月閲覧
- 5) 東京消防庁ホームページ (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>) 2017 年 1 月閲覧





---

## 謝辞

---

本論文は筆者が首都大学東京大学院都市環境科学研究科建築学域博士前期課程に在籍中の研究成果をまとめたものです。また、本論文を執筆するにあたり、指導教員である首都大学東京大学院 鳥海基樹准教授には的確な指導をしていただきました。至らない部分も多数あったとは思いますが、学部時代を含め 3 年間研究を見守っていただいた事で、集大成となる本論文を書き上げることができました。ここに多大な感謝を申し上げます。ありがとうございました。

また、調査にあたりアンケートにご協力いただいた消防署の皆様、ご丁寧な回答のおかげで貴重な意見を得る事ができました。お忙しい中ヒアリング調査にご協力いただいた池袋消防署様町田消防署様、自由学園明日館の所有者様、皆様のご協力と激励のお言葉により本論文を書き上げる事ができました。貴重な時間を確保していただいた事に御礼申し上げます。

最後に建築学域の学友のおかげで、実りある学校生活を送る事ができました。これから別の道に進む事になりますが、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

2017年2月3日  
武内 雄太



---

## 資料編

消防署データ  
アンケート

---



---

消防署データ

---



所在地：千代田区大手町 1-3-5  
出張所：1 署（有楽町消防出張所）  
火災発生件数：43 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧江戸城外桜田門	1663 頃	1961. 06. 07	重要文化財
東京駅丸ノ内本屋	1914	2003. 05. 30	重要文化財
法務省旧本館	1895	1994. 12. 27	重要文化財
明治生命保険相互会社本社本館	1934	1997. 05. 29	重要文化財
日本工業倶楽部会館	1920	1999. 08. 23	登録有形文化財
旧日比谷公園事務所（東京都公園資料館）	1910	1990. 03. 22	都指定文化財
市政会館・日比谷公会堂	1929	1999	都選定歴史的建造物
DN タワー 21（旧第一生命館）	1938	2003	都選定歴史的建造物



所在地：千代田区麴町 1-12  
出張所：1 署（永田町出張所）  
火災発生件数：41 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧近衛師団司令部庁舎	1910	1972. 10. 02	重要文化財
旧江戸城清水門	1658	1961. 06. 07	重要文化財
旧江戸城田安門	1636	1961. 06. 07	重要文化財
旧文部省庁舎	1932	2007. 10. 02	登録有形文化財
旧李王家東京邸	1930	2012. 03. 21	都指定文化財
日本水準原点標庫	1891	1996. 03. 18	都指定文化財
東京ルーテルセンタービル	1937	2000	都選定歴史的建造物



所在地：千代田区外神田 4-14-3

出張所：2 署（三崎町出張所、鍛冶町出張所）

火災発生件数：48 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
日本ハリストス正教会教団復活大聖堂（ニコライ堂）	1891	1962.06.21	重要文化財
カトリック神田教会聖堂	1928	2002.02.14	登録有形文化財
学士会館	1928	2003.01.31	登録有形文化財
山本歯科医院	1929	2005.02.09	登録有形文化財
松本家住宅主屋	1931	2000.04.28	登録有形文化財
神田神社神饌所	1934	2003.09.19	登録有形文化財
神田神社瑞垣	1937	2003.09.19	登録有形文化財
神田神社西門	1934	2003.09.19	登録有形文化財
神田神社東門	1934	2003.09.19	登録有形文化財
神田神社拝殿	1934	2003.09.19	登録有形文化財
神田神社幣殿	1934	2003.09.19	登録有形文化財
神田神社宝庫	1934	2003.09.19	登録有形文化財
神田神社本殿	1934	2003.09.19	登録有形文化財
太洋ビルディング（丸石ビルディング）	1931	2002.02.14	登録有形文化財
いせ源本館	1932	2001	都選定歴史的建造物
神田まつや	1925	2001	都選定歴史的建造物
ぼたん	1929	2001	都選定歴史的建造物
竹むら	1930	2001	都選定歴史的建造物





所在地：中央区京橋 3-14-1

出張所：2 署（築地出張所、銀座出張所）

火災発生件数：55 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
築地本願寺本堂	1934	2014. 12. 10	重要文化財
大野屋總本店店舗	1924 頃	2014. 07. 25	登録有形文化財
築地本願寺石塀	1926-1958	2011. 07. 25	登録有形文化財
築地本願寺本堂	1934	2011. 07. 25	登録有形文化財
聖路加国際病院（チャペル及び付属する旧病棟）	1933	1999	都選定歴史的建造物
ヨネイビルディング	1930	1999	都選定歴史的建造物
カトリック築地協会聖堂	1927	1999	都選定歴史的建造物
中央区泰明小学校	1929	1999	都選定歴史的建造物
鈴木ビル	1929	2004	都選定歴史的建造物
宮川食鳥鶏卵	1929	2011	都選定歴史的建造物



所在地：中央区日本橋兜町 14-12

出張所：3 署（堀留出張所、人形町出張所、浜松出張所）

火災発生件数：38 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
三井本館	1889 頃	1998. 12. 25	重要文化財
日本橋	1911	1999. 05. 13	重要文化財
日本銀行本店本館	1896	1974. 02. 05	重要文化財
高島屋東京店	1933	2009. 06. 30	重要文化財
ハリオガラスビル	1932	2003. 07. 01	登録有形文化財
よし梅芳町亭	1927 頃	2002. 08. 21	登録有形文化財
玉置文治郎ビル	1929	2005. 02. 09	登録有形文化財
江戸屋店舗兼住宅	1924	2014. 04. 25	登録有形文化財
三越本店	1914・1927	1999	都選定歴史的建造物
近三ビルディング 旧森五商店東京支社ビル	1931	1999	都選定歴史的建造物
中央区立常盤小学校	1929	1999	都選定歴史的建造物
中央区十思スクエア	1928	2005	都選定歴史的建造物
日本橋ダイヤモンドビルディング (旧三菱倉庫江戸橋倉庫ビル)	1930	2007	都選定歴史的建造物
両国橋	1932	2008	都選定歴史的建造物



所在地：中央区晴海 5-1-27  
出張所：1 署（月島消防出張所）  
火災発生件数：-

所在する歴史的建造物

なし



所在地：港区東新橋 2-13-7

出張所：2 署（芝浦出張所、三田消防署）

火災発生件数：-

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧台徳院霊廟惣門	1632	1930. 05. 23	重要文化財
慶應義塾三田演説館	1875	1967. 06. 15	重要文化財
慶應義塾図書館	1911	1969. 03. 12	重要文化財
増上寺三解脱門	1621	1915. 03. 26	重要文化財
有章院（徳川家継）霊廟二天門	1717	1930. 05. 23	重要文化財
キリスト友会フレンズセンター	1922	2005. 12. 26	登録有形文化財
菊池寛実記念智美術館別館	1924	2003. 12. 01	登録有形文化財
虎ノ門大坂屋砂場店舗	1923	2011. 07. 25	登録有形文化財
常照院本堂内陣	1769	2001. 11. 20	登録有形文化財
心光院表門	1743	2001. 11. 20	登録有形文化財
大橋茶寮茶室葵	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
大橋茶寮茶室桂	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
大橋茶寮茶室山吹	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
大橋茶寮茶室守貧庵	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
大橋茶寮茶室如庵写	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
大橋茶寮茶室中門	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
大橋茶寮茶室表門	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
大橋茶寮茶室不老門	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
大橋茶寮茶室塀	1949 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
東京タワー	1958	2013. 06. 21	登録有形文化財
掘商店	1932	1998. 04. 21	登録有形文化財
妙定院熊野堂	1796	2001. 11. 20	登録有形文化財
妙定院上土蔵	1811	2001. 11. 20	登録有形文化財
廣度院表門及び練塀	1801-1900	1998. 12. 11	登録有形文化財
増上寺経蔵	1605	1960. 04. 01	都指定文化財



所在地：港区元麻布 3-4-42

出張所：2 署（飯倉出張所、麻布出張所）

火災発生件数：5 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
国際文化会館本館	1955	2006. 08. 03	登録有形文化財
西町インターナショナルスクール（松方ハウス）	1921	2000	都選定歴史的建造物
日本基督教団安藤記念教会会堂	1917	2004	都選定歴史的建造物



所在地：港区南青山 2-16-9

出張所：1 署（新町出張所）

火災発生件数：50 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）	1909	2009. 12. 08	重要文化財
大倉集古館陳列館	1927	1998. 09. 02	登録有形文化財
氷川神社社殿	1730	1976. 07. 01	都指定文化財



所在地：港区白金2-4-12

出張所：3署（三光出張所、港南出張所、二本榎出張所）

火災発生件数：40件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧朝香宮邸	1933	2015.07.08	重要文化財
瑞聖寺大雄宝殿	1757	1992.08.10	重要文化財
明治学院インブリー館	1889頃	1998.12.25	重要文化財
三菱電機高輪荘主屋	1926-1988	2000.12.04	登録有形文化財
三菱電機高輪荘蔵	1926-1988	2000.12.04	登録有形文化財
三菱電機高輪荘洋館	1926-1988	2000.12.04	登録有形文化財
東京水産大学雲鷹丸	1909	1998.12.11	登録有形文化財
虎ノ門金刀比羅宮	1951	2001	都選定歴史的建造物
港区高輪台小学校	1935	2005	都選定歴史的建造物
高輪消防署二本榎出張所	1933	2010	都選定歴史的建造物
聖心女子大学院正門	1909	2010	都選定歴史的建造物



所在地：品川区北品川 3-7-31

出張所：3 署（東品川出張所、大崎出張所、五反田出張所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
小池家住宅主屋	1938	2011. 01. 26	登録有形文化財
旧島津家公爵家袖ヶ崎本邸洋館（清泉女子大学本館）	1917	2012. 03. 21	都指定文化財
土浦家住宅	1935	1976. 07. 01	都指定文化財





所在地：品川区東大井 3-6-12

出張所：2 署（滝王子出張所、八潮出張所）

火災発生件数：33 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：品川区北品川 3-7-31

出張所：3 署（戸越消防出張所、小山消防出張所、旗の台消防出張所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旗岡八幡神社絵馬殿	1928 頃	2013. 06. 21	登録有形文化財



所在地：大田区大森町東 1-32-8

出張所：4 署（馬込出張所、市野倉出張所、山谷出張所、森ヶ崎出張所）

火災発生件数：56 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
池上本門寺宝塔	1828	2010. 12. 24	重要文化財
本門寺五重塔	1607	1911. 04. 17	重要文化財
河原家住宅主屋	1925	2002. 02. 15	登録有形文化財
高橋診療所	1931	2000. 02. 15	登録有形文化財
実相寺本堂	1928	2003. 03. 18	登録有形文化財
実相寺門	1928	2003. 03. 18	登録有形文化財
守屋家住宅主屋	1929	2000. 02. 15	登録有形文化財
萬屋酒店	1875	2000. 02. 15	登録有形文化財



所在地：大田区雪谷大塚町 13-22  
出張所：2 署（雪谷出張所、久が原出張所）  
火災発生件数：29 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
位田家住宅主屋	1930	2005. 02. 09	登録有形文化財
加藤家住宅主屋	1924	2002. 06. 25	登録有形文化財
吉川家住宅主屋	1923-1924	2000. 02. 15	登録有形文化財
三橋家住宅主屋	1926-1988	2004. 03. 02	登録有形文化財
山崎家住宅主屋	1877 頃	2006. 08. 03	登録有形文化財
昭和のくらし博物館（旧小泉家住宅主屋）	1951	2002. 06. 25	登録有形文化財
松風荘主屋	1926-1988	2003. 03. 18	登録有形文化財
松風荘待合	1926-1988	2003. 03. 18	登録有形文化財
松風荘門	1926-1988	2003. 03. 18	登録有形文化財
竹中家住宅主屋	1926-1988	2000. 09. 26	登録有形文化財
鳳凰閣（旧清明文庫）	1933	2000. 02. 15	登録有形文化財
妙福寺祖師堂（旧七面大明神堂）	1833	2002. 06. 25	登録有形文化財
鈴木家住宅主屋	1912-1925	2000. 02. 15	登録有形文化財



所在地：大田区蒲田本町 2-28-1

出張所：3 署（空港分署・ターミナル分駐所、  
羽田出張所、六郷出張所）

火災発生件数：60 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地 : 大田区多摩川 2-5-20

出張所 : 3 署 (下丸子出張所、西蒲田出張所、  
西六郷出張所)

火災発生件数 : 31 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
鳥海家住宅主屋	1937	2002. 06. 25	登録有形文化財



所在地：目黒区下目黒 6-1-22

出張所：4 署（中目黒出張所、碑文谷出張所、八雲出張所、大岡山出張所）

火災発生件数：83 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
円融時本堂	1393-1466	1911.04.17	重要文化財
旧前田家本邸	1929	2013.08.07	重要文化財
尊經閣文庫	1928	2013.08.07	重要文化財
旧園田家住宅スタジオ	1955	2015.03.26	登録有形文化財
浅田家住宅主屋	1927	2005.11.10	登録有形文化財
東京工業大学七〇周年記念講堂	1955	2013.12.24	登録有形文化財
東京工業大学大岡山西一号館（旧分析化学実験室）	1931	2013.12.24	登録有形文化財
東京工業大学本館	1934	2013.12.24	登録有形文化財
東京大学教養学部旧第一高等学校本館（時計台）	1933	2000.09.26	登録有形文化財
東京大学先端化学技術研究センター十三号館（旧東京帝国大学航空研究所本館）	1929	2000.09.26	登録有形文化財
日本民芸館西館長屋門及び付属塀	1880	1999.07.08	登録有形文化財
日本民芸館本館	1936	1999.07.08	登録有形文化財
日本民芸館本館付属塀	1936	1999.07.08	登録有形文化財
祐天寺書院	1895	2013.12.24	登録有形文化財
祐天寺水屋	1846	2013.12.24	登録有形文化財
祐天寺地藏堂	1788	2013.12.24	登録有形文化財
祐天寺地藏堂門	1830-1868	2013.12.24	登録有形文化財
祐天寺表門	1868-1882	2013.12.24	登録有形文化財
祐天寺本堂	1860	2013.12.24	登録有形文化財
旧崇源院霊屋宮殿	1628	2015.03.17	都指定文化財
目黒雅叙園百段階段	1935	2009.03.16	都指定文化財
滝泉寺前不動堂	-	1976.07.01	都指定文化財



所在地：世田谷区三軒茶屋 2-33-21  
 出張所：5 署（北沢出張所、宮の坂出張所、松原出張所、三宿出張所、上北沢出張所）  
 火災発生件数：83 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
大場家住宅	1753	1978. 01. 21	重要文化財
鎌田家住宅主屋	1932	2009. 11. 02	登録有形文化財
鎌田家住宅門及び塀	1932	2009. 11. 02	登録有形文化財
鎌田家住宅離れ	1932	2009. 11. 02	登録有形文化財
坂間家住宅主屋	1932	2004. 03. 02	登録有形文化財
池上家住宅主屋	1932	2006. 11. 29	登録有形文化財
長谷川家住宅	1935 頃	2000. 10. 18	登録有形文化財
日本学園一号館	1936	2009. 11. 02	登録有形文化財
日本基督教団富士見丘教会	1936	2003. 09. 19	登録有形文化財
萩原家住宅	1924	2000. 02. 15	登録有形文化財
柳澤家住宅主屋	1951	2011. 10. 28	登録有形文化財
武家屋敷門	-	1976. 07. 01	都指定文化財
駒澤大学耕雲館（禅文化歴史博物館）	1928	1999	都選定歴史的建造物





所在地：世田谷区中町3-1-19

出張所：3署（奥沢消防出張所、用賀出張所、  
新町出張所）

火災発生件数：59件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
清明亭	1931	2003	都選定歴史的建造物



所在地：世田谷区成城 1-21-14

出張所：2 署（千歳出張所、烏山出張所）

火災発生件数：39 件

#### 所在する歴史の建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
河津家住宅主屋	1929 頃	2006. 11. 29	登録有形文化財
志村家住宅門及び石垣	1939 頃	2006. 11. 29	登録有形文化財
秋山家住宅主屋	1907	2014. 04. 25	登録有形文化財
秋山家住宅土蔵	1891	2014. 04. 25	登録有形文化財
築山家住宅主屋	1928	2007. 10. 02	登録有形文化財
築山家住宅水蓮池	1928	2007. 10. 02	登録有形文化財
築山家住宅石垣	1928	2007. 10. 02	登録有形文化財
築山家住宅門	1928	2007. 10. 02	登録有形文化財
静嘉堂文庫	1924	1999	都選定歴史の建造物
岩崎家玉川廟	1910	1999	都選定歴史の建造物



所在地：渋谷区神南 1-8-3

出張所：5 署（恵比寿出張所、松濤出張所、代々木出張所、富ヶ谷出張所、原宿出張所）

火災発生件数：火災発生件数：

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧朝倉家住宅	1919	2004. 12. 10	重要文化財
明治神宮宝物殿	1921	2011. 06. 20	重要文化財
温故学会会館	1927	2000. 04. 28	登録有形文化財
渋谷区立広尾小学校	1932	2000. 04. 28	登録有形文化財
聖心女子大学バレス	1924	2000. 04. 28	登録有形文化財
青山学院バリーホール	1931	2008. 04. 18	登録有形文化財
青山学院間島記念館	1929	2008. 04. 18	登録有形文化財
代々木能舞台敷舞台及び座敷	1933	2009. 08. 07	登録有形文化財
代々木能舞台舞台・橋掛・鏡の間	1950	2009. 08. 07	登録有形文化財
旧三宅家雪嶺邸三宅文庫	1930	2004. 03. 10	都指定文化財
明治神宮桃林荘	-	2003	都選定歴史的建造物



所在地：新宿区四谷 3-10  
出張所：1 署（新宿御苑出張所）  
火災発生件数：22 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
新宿御苑旧洋館御休所	1896	2001. 11. 14	重要文化財
聖徳記念絵画館	1926	2011. 06. 20	重要文化財
伊勢丹本店本館	1926/1933	2004	都選定歴史的建造物
渡邊家（蔵新宿御苑旧御涼亭）	1927	2004	都選定歴史的建造物



所在地：新宿区筑土八幡町 5-16

出張所：1 署（早稲田出張所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
学習院旧正門	1877	1973. 06. 02	重要文化財
旧馬場家牛込邸	1928	2014. 09. 18	重要文化財
一水寮	1951 頃	2013. 03. 29	登録有形文化財
一瀬家住宅主屋	1930	2006. 03. 02	登録有形文化財
一瀬家住宅倉庫	1930	2006. 03. 27	登録有形文化財
宮城道雄記念館検校の間	1948	2011. 07. 25	登録有形文化財
旧常盤家本館（石合家住宅主屋）	1950	2011. 10. 28	登録有形文化財
高橋建築事務所社屋	1954	2011. 07. 25	登録有形文化財
新井家住宅主屋	1926-1945	2013. 03. 29	登録有形文化財
矢来能楽堂	1952	2011. 07. 25	登録有形文化財
鈴木家住宅主屋	1947	2011. 07. 25	登録有形文化財
旧小笠原邸	1927	2004	都選定歴史的建造物



所在地：新宿区百人町 3-29-4

出張所：4 署（落合出張所、戸塚出張所、大久保出張所、西新宿出張所）

火災発生件数：133 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
早稲田大学大隈記念講堂	1927	2007. 12. 04	重要文化財
旧島津家住宅アトリエ	-	2011. 07. 25	登録有形文化財
栗原家住宅稲荷社及び石鳥居	1937	2015. 03. 26	登録有形文化財
栗原家住宅主屋	1937	2015. 03. 26	登録有形文化財
栗原家住宅蔵	1945 頃	2015. 03. 26	登録有形文化財
栗原家住宅門柱及び塀	1937	2015. 03. 26	登録有形文化財
日本バプテストキリスト教目白ヶ丘協会礼拝堂	1950	2011. 10. 28	登録有形文化財
早稲田大学 2 号館（旧図書館）	1925	2001	都選定歴史的建造物
早稲田奉仕園 スコットホール	1921	2001	都選定歴史的建造物
日立目白クラブ（本館及び別館）	1928	2001	都選定歴史的建造物
聖母病院	1931	2003	都選定歴史的建造物
新宿区立 林芙美子記念館	1941	2003	都選定歴史的建造物



所在地：中野区中央 3-25-3

出張所：3 署（南中野出張所、宮園出張所、東中野出張所）

火災発生件数：38 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
中村家住宅洋館	1898-1912	2013. 12. 24	登録有形文化財



所在地：中野区丸山 2-21-1

出張所：3 署（大和出張所、鷺宮出張所、江古田出張所）

火災発生件数：64 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧野方配水塔	1929	2010.01.15	登録有形文化財
功運寺庫裏	1919	2014.10.07	登録有形文化財
功運寺山門	1914	2014.10.07	登録有形文化財
功運寺鐘楼	1749 頃	2014.10.07	登録有形文化財
細井家住宅主屋	1857	2014.10.07	登録有形文化財
三岸家住宅アトリエ	1934	2014.10.07	登録有形文化財





所在地：杉並区阿佐ヶ谷南 3-4-3

出張所：6 署（阿佐ヶ谷出張所、高円寺出張所、馬橋出張所、高井戸出張所、永福出張所、堀ノ内出張所）

火災発生件数：85 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
妙法寺鉄門	1878	1973. 06. 02	重要文化財
幻戯山房（旧角川家住宅主屋）	1955	2009. 11. 02	登録有形文化財
西郊ロッヂング	1938	2009. 11. 02	登録有形文化財
旅館西郊本館	1931	2009. 11. 02	登録有形文化財
妙法寺仁王門	1787	1976. 07. 01	都指定文化財
妙法寺書院（御成間）	1814	1976. 07. 01	都指定文化財
妙法寺祖師堂	1811	1976. 07. 01	都指定文化財
浴風会本館	1926	2001	都選定歴史的建造物



所在地：杉並区桃井 3-4-1

出張所：4 署（西荻出張所、久我山出張所、天沼出張所、下井草出張所）

火災発生件数：-

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
ビストロ OJI(末光家住宅)	1924	2013. 12. 24	登録有形文化財
旧滋賀家住宅主屋	1931	2013. 12. 24	登録有形文化財
古宇田家住宅	1927	2013. 12. 24	登録有形文化財
水口家住宅洋館	1926-1988	2013. 12. 24	登録有形文化財
辻家住宅旧主屋	1932	2013. 12. 24	登録有形文化財
東京女子大学 14 号館（安井記念館）	1925	1998. 09. 02	登録有形文化財
東京女子大学 16 号館（外国人教師館）	1925	1998. 09. 02	登録有形文化財
東京女子大学 17 号館（ライシャワー館）	1927	1998. 09. 02	登録有形文化財
東京女子大学 6 号館（東校舎）	1925	1998. 09. 02	登録有形文化財
東京女子大学 7 号館（西校舎）	1924	1998. 09. 02	登録有形文化財
東京女子大学講堂・礼拝堂	1938	1998. 09. 02	登録有形文化財
東京女子大学本館	1931	1998. 09. 02	登録有形文化財
淵川家住宅主屋	1935 頃	2014. 04. 25	登録有形文化財



所在地：文京区白山 3-3-1

出張所：2 署（老松出張所、大塚出張所）

火災発生件数：32 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧磯野家住宅	1912	2005. 12. 27	重要文化財
旧東京医学校本館	1876	1970. 06. 17	重要文化財
護国寺月光殿（旧日光院客殿）	1573-1614	1931. 01. 19	重要文化財
護国寺本堂	1687	1931. 01. 19	重要文化財
お茶の水女子大学講堂	1932	2008. 03. 07	登録有形文化財
お茶の水女子大学表門	1936	2008. 03. 07	登録有形文化財
お茶の水女子大学附属幼稚園園舎	1931	2008. 03. 07	登録有形文化財
お茶の水女子大学本館	1932	2008. 03. 07	登録有形文化財
伊勢五主屋	1868-1911	2003. 09. 19	登録有形文化財
伊勢五蔵	1868-1911	2003. 09. 19	登録有形文化財
新町館（三宅家住宅）	1926-1988	1998. 09. 02	登録有形文化財
進開屋	1926-1988	2003. 03. 18	登録有形文化財
村川家住宅主屋	1911	1998. 09. 02	登録有形文化財
村川家住宅蔵	1920	1998. 09. 02	登録有形文化財
村川家住宅門	1911	1998. 09. 02	登録有形文化財
村川家住宅洋館	1911	1998. 09. 02	登録有形文化財
椿山荘三重塔	1333-1572	2003. 03. 18	登録有形文化財
椿山荘残月	1912-1925	2004. 02. 17	登録有形文化財
日本聖公会東京教区東京諸聖徒協会礼拝堂	1931	2004. 06. 09	登録有形文化財
旧細川侯爵邸（和敬塾本館）	1936	1998. 03. 13	都指定文化財



所在地：文京区本郷 7-1-11

出張所：2 署（駒込出張所、根津出張所）

火災発生件数：34 件

### 所在する歴史の建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧加賀屋敷御守殿門（赤門）	1827 頃	1931. 12. 14	重要文化財
根津神社	1706	1931. 12. 14	重要文化財
さかえビル	1934	1998. 09. 02	登録有形文化財
はん亭	1917	1999. 08. 23	登録有形文化財
芦葉家住宅倉庫	1934	2005. 02. 09	登録有形文化財
芦葉家住宅門	1934	2005. 02. 09	登録有形文化財
旧伊勢屋質店見世	1907	2003. 01. 31	登録有形文化財
旧伊勢屋質店座敷棟	1890	2003. 01. 31	登録有形文化財
旧伊勢屋質店土蔵	1868-1911	2003. 01. 31	登録有形文化財
旧弘田家住宅主屋	1931	2014. 04. 25	登録有形文化財
旧弘田家住宅門柱及び塀	1931	2014. 04. 25	登録有形文化財
橋本家住宅	1933	1998. 09. 02	登録有形文化財

名称	建設年	指定年月日	指定区分
金澤家住宅主屋	1930	1998. 12. 11	登録有形文化財
金澤家住宅門及び塀	1930	1998. 12. 11	登録有形文化財
金澤家住宅洋館	1930	1998. 12. 11	登録有形文化財
高村家住宅主屋	1959	2014. 04. 25	登録有形文化財
瀬川家住宅（旧古市家住宅）主屋	1887 頃	2003. 03. 18	登録有形文化財
瀬川家住宅（旧古市家住宅）蔵	1926-1988	2003. 03. 18	登録有形文化財
棚澤書店	1868-1911	2002. 06. 25	登録有形文化財
田口家住宅主屋	1885	2010. 04. 28	登録有形文化財
島菌家住宅主屋	1932	2001. 10. 12	登録有形文化財
東京大学工学部 1 号館	1935	1998. 10. 09	登録有形文化財
東京大学工学部列品館	1925	1998. 10. 09	登録有形文化財
東京大学大講堂（安田講堂）	1925	1996. 12. 20	登録有形文化財
東京大学法学部 3 号館	1927	1998. 10. 09	指定区分
東京大学法文 1 号館	1935	1998. 10. 09	登録有形文化財
東京大学法文 2 号館	1938	1998. 10. 09	登録有形文化財
東京大学本郷正門及び門衛所	1912	1998. 10. 09	登録有形文化財
東京大学野球場観覧室・ダッグアウト及びフェンス	1937	2010. 09. 10	登録有形文化財
日本基督教団根津教会	1912-1925	2001. 08. 28	登録有形文化財
日本基督教団根津教会門及び塀	1912-1925	2001. 08. 28	登録有形文化財
日本基督教団本郷中央教会	1929	1998. 12. 11	登録有形文化財
平野家住宅主屋	1921	1998. 09. 02	登録有形文化財
平野家住宅蔵	1922 頃	1998. 09. 02	登録有形文化財
平野家住宅茶室	1922 頃	1998. 09. 02	登録有形文化財
平野家住宅茶室門	1922 頃	1998. 09. 02	登録有形文化財
平野家住宅門	1922 頃	1998. 09. 02	登録有形文化財
平野家住宅洋館	1922	1998. 09. 02	指定区分
鳳明館本館	1897-1906	指定年月日	登録有形文化財
弥生正緑館（渋谷家住宅洋館）主屋	1906	1998. 09. 02	登録有形文化財
弥生正緑館（渋谷家住宅洋館）庭門	1906	1998. 09. 02	登録有形文化財
林家住宅	1912-1925	1998. 09. 02	登録有形文化財
求道会館	1830-1926	2011. 01. 26	登録有形文化財
湯島天満宮表鳥居	1881	2011. 01. 26	登録有形文化財
半床庵	1898-1912	1999	登録有形文化財
東京大学広報センター（旧医師会事務局）	1934	2003	登録有形文化財
東京大学七徳堂	1931	2003	登録有形文化財
東京大学農学部 3 号館	1934	2003	登録有形文化財



所在地：豊島区東池袋 3-19-20

出張所：2 署（巣鴨出張所、目白出張所）

火災発生件数：70 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
学習院厩舎	1921	1997. 05. 29	重要文化財
学習院正門	1936	2008. 03. 07	登録有形文化財
学習院一号館（旧中等科教場）	1934	2014. 12. 19	登録有形文化財
学習院東別館（旧皇族寮）	1954	2014. 12. 19	登録有形文化財
学習院南一号館（旧理科特別教場）	1787	1976. 07. 01	都指定文化財
学習院乃木館（旧総寮部）	1918	1999	都選定歴史的建造物
学習院北別館（旧図書館）	1918	1999	都選定歴史的建造物
高岩寺本堂	1918	1999	都選定歴史的建造物
旧マッケーレブ邸（雑司が谷宣教師館）	1918	2001	都選定歴史的建造物
法明寺鬼子母神堂	1918	2001	都選定歴史的建造物



所在地：豊島区西池袋 2-37-8

出張所：2 署（長崎消防出張所、高松消防出張所）

火災発生件数：29 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
自由学園明日館	1921	1997. 05. 29	重要文化財
旧丹羽家住宅主屋	1936	2008. 03. 07	登録有形文化財
金剛院庫裏	1934	2014. 12. 19	登録有形文化財
金剛院本堂	1954	2014. 12. 19	登録有形文化財
立教大学 本館（モリス館）	1918	1999	都選定歴史的建造物
立教大学 図書館旧館	1918	1999	都選定歴史的建造物
立教大学 諸聖徒礼拝堂	1918	1999	都選定歴史的建造物
立教大学 第1 食堂	1918	2001	都選定歴史的建造物
立教大学 2 号館	1918	2001	都選定歴史的建造物
立教大学 3 号館	1918	2001	都選定歴史的建造物



所在地 : 北区王子 4-28-1  
出張所 : 2 署 (十条出張所、東十条出張所)  
火災発生件数 : 43 件

所在する歴史的建造物

なし





所在地：北区赤羽南 1-10-4

出張所：4 署（志茂出張所、浮間出張所、西が丘出張所、赤羽台出張所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧岩渕水門	1924	1999	都選定歴史的建造物



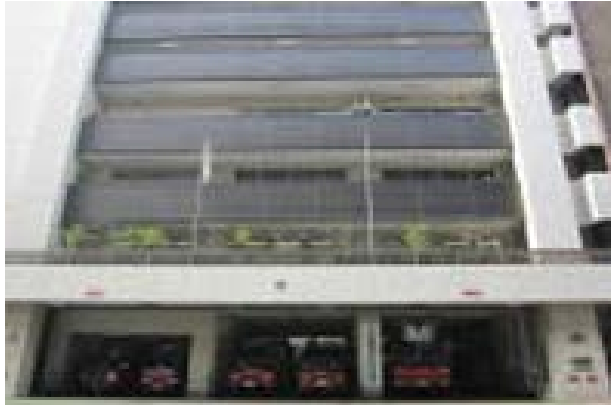
所在地：北区西ヶ原 2-1-1

出張所：2 署（三軒家出張所、田端出張所）

火災発生件数：15 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧渋沢家飛鳥山邸	1918	2005. 12. 27	登録有形文化財
旧醸造試験所第一工場	1905	2014. 12. 10	登録有形文化財



所在地：板橋区板橋 2-60-15

出張所：2 署（常盤台出張所、小茂根出張所）

火災発生件数：-

所在する歴史的建造物

なし



所在地：板橋区相生町 17-1

出張所：5 署（蓮根出張所、成増出張所、赤塚出張所、志村坂上出張所、高島平出張所）

火災発生件数：99 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：練馬区豊玉北 5-1-8

出張所：2 署（平和台出張所、貫井出張所）

火災発生件数：53 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
佐々木家住宅主屋	1934	2010. 01. 15	登録有形文化財
青柳家住宅主屋	1928	2004. 11. 08	登録有形文化財



所在地：練馬区光が丘 2-9-1

出張所：1 署（北町消防署）

火災発生件数：6 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：練馬区下石神井 5-16-8

出張所：4 署（関町消防出張所、大泉消防出張所、大泉学園消防出張所、石神井公園消防出張所）

火災発生件数：69 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：台東区東上野 5-2-9

出張所：2 署（下谷出張所、谷中出張所）

火災発生件数：55 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
寛永寺旧本坊表門（黒門）	1624-1643	1946. 11. 29	重要文化財
寛永寺清水堂	1631	1946. 11. 29	重要文化財
旧因州池田屋敷表門	1830-1867	1951. 09. 22	重要文化財
旧寛永寺五重塔	1639	1911. 04. 17	重要文化財
旧岩崎家住宅	1896 頃	1961. 12. 28	重要文化財
旧十輪院宝蔵	1185-1274	1953. 08. 29	重要文化財
旧東京音楽学校奏楽堂	1890	1988. 01. 13	重要文化財
旧東京科学博物館本館	1931	2008. 06. 09	重要文化財
旧東京帝室博物館本館	1937	2001. 06. 15	重要文化財
巖有院霊廟奥院	1685	1930. 05. 23	重要文化財
巖有院霊廟勅額門及び水盤舎	1681	1930. 05. 23	重要文化財



名称	建設年	指定年月日	指定区分
国立西洋美術館本館	1959	2007. 12. 21	指定区分
常憲院靈廟奥院	1709	1930. 05. 23	指定区分
常憲院靈廟勅額門及び水盤舎	1709	1930. 05. 23	指定区分
東照宮社殿	1651	1911. 04. 17	指定区分
表慶館	1908	1978. 05. 31	登録有形文化財
すぺーす小倉屋敷	1916	2000. 04. 28	登録有形文化財
すぺーす小倉屋店舗	1830-1867	2000. 04. 28	登録有形文化財
燕湯	1950	2008. 04. 18	登録有形文化財
花重店舗	1877	2003. 01. 31	登録有形文化財
寛永寺護国院庫裏	1927	2001. 10. 12	登録有形文化財
寛永寺渋沢家霊堂	1898	2001. 10. 12	登録有形文化財
観音寺築地堀	1830-1867	2000. 04. 28	登録有形文化財
教證寺客殿	1909	2010. 09. 10	登録有形文化財
教證寺本堂	1909	2010. 09. 10	都指定文化財
黒沢ビル	1930	2005. 11. 10	都指定文化財
市田家住宅主屋	1907 頃	2005. 12. 26	都指定文化財
市田家住宅蔵	1907 頃	2005. 12. 26	都指定文化財
市田家住宅表門	1907 頃	2005. 12. 26	登録有形文化財
市田家住宅裏門	1907 頃	2005. 12. 26	登録有形文化財
台東区立朝倉彫塑館アトリエ棟	1935	2001. 10. 12	登録有形文化財
台東区立浅草彫塑館旧アトリエ	1923	2001. 10. 12	登録有形文化財
台東区立浅草彫塑館住居	1935	2001. 10. 12	登録有形文化財
台東区立浅草彫塑館東屋	1935	2001. 10. 12	登録有形文化財
東京文化財研究所黒田記念書庫	1935	2002. 02. 14	登録有形文化財
東京文化財研究所黒田記念本館	1928	2002. 02. 14	登録有形文化財
一円庵	-	1976. 07. 01	都指定文化財
上田邸（旧忍旅館）	1929	1999	都選定歴史の建造物
国立国会図書館国際子ども図書館	1906	1999	都選定歴史の建造物
東京藝術大学赤レンガ1号館	1880	2010	都選定歴史の建造物
東京藝術大学赤レンガ2号館	1886	2010	都選定歴史の建造物
東京藝術大学陳列館	1929	2010	都選定歴史の建造物
東京藝術大学正木記念館	1935	2010	都選定歴史の建造物
東京藝術大学旧東京美術学校玄関	1913	2010	都選定歴史の建造物



所在地：台東区駒形 1-5-8  
出張所：1 署（浅草橋出張所）  
火災発生件数：27 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
ギャラリー・エフ蔵	1883-1897	2014. 04. 25	登録有形文化財
タイガービルヂング	1883-1897	2014. 04. 25	登録有形文化財
日本聖公会浅草ヨハネ協会	1830-1868	2014. 04. 25	登録有形文化財
蔵前橋	1883-1897	2014. 04. 25	登録有形文化財
厩橋	1839-1868	2014. 04. 25	登録有形文化財



所在地：台東区千束 4-1-1

出張所：2 署（二天門出張所、今戸出張所）

火災発生件数：32 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
浅草寺伝法院	1776	2015. 07. 08	重要文化財
浅草寺二天門	1649 頃	1946. 11. 29	重要文化財
浅草神社	1649 頃	1946. 11. 29	重要文化財
伊勢屋店舗兼主屋	1927	2010. 09. 10	登録有形文化財
今半別館玄関棟	1950 頃	2003. 09. 19	登録有形文化財
今半別館南棟	1950 頃	2003. 09. 19	登録有形文化財
今半別館北棟	1950 頃	2003. 09. 19	登録有形文化財
神谷パー一本館	1921	2011. 10. 28	登録有形文化財
中江店舗	1924	2010. 09. 10	登録有形文化財
天祐庵	1781-1789	1976. 07. 01	都指定文化財
浅草寺六角堂	-	1976. 07. 01	都指定文化財



所在地：荒川区荒川 2-1-13

出張所：4 署（南千住出張所、汐入出張所、音無川出張所、日暮里出張所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧三河島污水処分場唧筒場施設	1921	2007. 12. 04	重要文化財



所在地：荒川区東尾久 8-44-4

出張所：2 署（尾竹橋出張所、下尾久出張所）

火災発生件数：18 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地 : 足立区千住中居町 9-14  
出張所 : 2 署 (旭町出張所、宮城出張所)  
火災発生件数 : 29 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：足立区梅島 2-1-1

出張所：4 署（綾瀬消防署、淵江出張所、大谷田出張所、明神出張所）

火災発生件数：94 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
平田家住宅主屋	1939	2013. 06. 21	登録有形文化財



所在地 : 足立区伊興 2-5-11

出張所 : 4 署 (大師前出張所、上沼田出張所、  
本木出張所、舎人出張所)

火災発生件数 : 65 件

所在する歴史的建造物

なし





所在地：墨田区横川 4-6-6

出張所：3 署（緑出張所、小梅出張所、東駒形出張所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
割烹美屋小向島本店店舗	1926-1945	2011. 10. 28	登録有形文化財
照田家住宅主屋	1953	2008. 07. 08	登録有形文化財
東京都慰霊堂	1930	1999	都選定歴史的建造物
東京都復興記念館	1931	1999	都選定歴史的建造物



所在地 : 墨田区東向島 6-22-3

出張所 : 2 署 (墨田出張所、立花出張所)

火災発生件数 : 21 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：江東区木場 3-18-10

出張所：5 署（有明分署、永代出張所、枝川出張所、豊洲出張所、森下出張所）

火災発生件数：70 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧弾正橋（八幡橋）	1878	1977.06.27	重要文化財
明治丸	1874	1978.05.31	重要文化財
旧東京市深川食堂	1932	2008.07.08	登録有形文化財
東京商船大学 1 号館	1932	1997.12.12	登録有形文化財
東京商船大学 2 号館	1933	1997.12.12	登録有形文化財
東京商船大学旧天体観測所（第一観測台）	1903	1997.12.12	登録有形文化財
東京商船大学旧天体観測所（第二観測台）	1903	1997.12.12	登録有形文化財
東京商船大学事務局管理棟	1932	1997.12.12	登録有形文化財
涼亭	1909	2005	登録有形文化財



所在地 : 江東区亀戸 6-42-9

出張所 : 3 署 (大島消防署、砂町消防署、東砂  
消防署)

火災発生件数 : -

所在する歴史的建造物

なし



所在地：葛飾区東立石 3-12-7

出張所：4 署（南綾瀬出張所、上平井出張所、  
奥戸出張所、青戸出張所）

火災発生件数：73 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：葛飾区金町 4-15-20

出張所：3 署（亀有出張所、柴又出張所、水元出張所）

火災発生件数：38 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
柴又帝釈天題経寺大客殿	1929	2001	都選定歴史的建造物
葛飾区山本亭	-	2003	都選定歴史的建造物



所在地：江戸川区中央 2-9-13

出張所：2 署（小松川消防出張所、瑞江消防出張所）

火災発生件数：68 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地 : 江戸川区中葛西 1-29-1  
出張所 : 2 署 (船堀出張所、南葛西出張所)  
火災発生件数 : -

所在する歴史的建造物

なし





所在地：江戸川区鹿骨 2-42-11

出張所：3 署（篠崎出張所、南小岩出張所、北小岩出張所）

火災発生件数：-

所在する歴史的建造物

なし



所在地：立川市泉町 1156-1

出張所：4 署（錦町出張所、国立出張所、砂川出張所、谷保出張所）

火災発生件数：63 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
一橋大学旧門衛所	1931	2000. 09. 26	登録有形文化財
一橋大学兼松講堂	1927	2000. 09. 26	登録有形文化財
一橋大学東本館	1929	2000. 09. 26	登録有形文化財
滝乃川学園本館	1928	2002. 08. 21	登録有形文化財
中野家住宅主屋	1910	2000. 04. 28	登録有形文化財
中野家住宅蔵	1910	2000. 04. 28	登録有形文化財
本田家住宅主屋	1731	2011. 10. 28	登録有形文化財
本田家住宅薬医門	1830-1868	2011. 10. 28	登録有形文化財



所在地：武蔵野市吉祥寺北町 4-6-1

出張所：2 署（武蔵境出張所、吉祥寺出張所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
濱家住宅西洋館	1919-1925	2010. 09. 10	登録有形文化財



所在地：三鷹市新川 6-28-14

出張所：3 署（下連雀出張所、大沢出張所、  
牟礼出張所）

火災発生件数：31 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
安藤家住宅主屋	1941	2004. 07. 23	登録有形文化財
伊藤家住宅主屋	1929	2006. 03. 02	登録有形文化財
国際基督教大学泰山荘高風居	1866	1999. 10. 14	登録有形文化財
国際基督教大学泰山荘車庫	1936 頃	1999. 10. 14	登録有形文化財
国際基督教大学泰山荘書院	1936 頃	1999. 10. 14	登録有形文化財
国際基督教大学泰山荘蔵	1936 頃	1999. 10. 14	登録有形文化財
国際基督教大学泰山荘待合	1830-1867	1999. 10. 14	登録有形文化財
国際基督教大学泰山荘表門	1936 頃	1999. 10. 14	登録有形文化財
国立天文台ゴーチェ子午環室	1924	2014. 04. 25	登録有形文化財
国立天文台レプソルド子午儀室	1925	2014. 04. 25	登録有形文化財
国立天文台旧図庫及び倉庫	1930	2014. 04. 25	登録有形文化財
国立天文台太陽分光写真儀室	1926	1998. 07. 23	登録有形文化財
国立天文台大赤道儀室	1925	2002. 02. 14	登録有形文化財
国立天文台第一子午線標室	1921	2014. 04. 25	登録有形文化財
国立天文台第一赤道儀室	1925	2002. 02. 14	登録有形文化財
国立天文台第二子午線標室	1925	2014. 04. 25	登録有形文化財
国立天文台表門	1925	2014. 04. 25	登録有形文化財
国立天文台門衛所	1924	2014. 04. 25	登録有形文化財
淡島家住宅主屋	1935	2004. 07. 23	登録有形文化財
中島家住宅主屋	1929	2006. 03. 02	登録有形文化財
渡辺家住宅主屋	1940	2004. 07. 23	登録有形文化財
渡辺家住宅主屋	1928	2007. 12. 05	登録有形文化財



所在地：府中市寿町 1-5

出張所：4 署（分梅出張所、朝日出張所、  
是政出張所、栄町出張所）

火災発生件数：76 件

#### 所在する歴史の建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
東京農工大学農学部本館	1934	2000. 09. 26	登録有形文化財
旧三岡家住宅長屋門	1829	1976. 07. 01	都指定文化財
旧府中町役場庁舎	1922	1987. 02. 24	都指定文化財
大国魂神社本殿	1667	1976. 07. 01	都指定文化財
高安寺 本堂	1803	2003	都選定歴史の建造物
高安寺 山門	1872	2003	都選定歴史の建造物
高安寺 鐘楼	1856	2003	都選定歴史の建造物
聖将山東郷寺山門	1940	2011	都選定歴史の建造物



所在地：昭島市松原町 1-14-1

出張所：2 署（昭和出張所、大神出張所）

火災発生件数：23 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧三井家拝島別邸	1927	2010.03.23	都指定文化財



所在地：調布市下石原 1-16-1

出張所：3 署（つつじヶ丘出張所、国領出張所、  
深大寺出張所）

火災発生件数：49 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
新井家住宅外蔵	1883-1897	2014. 04. 25	登録有形文化財
新井家住宅旧蚕室	1883-1897	2014. 04. 25	登録有形文化財
新井家住宅主屋	1830-1868	2014. 04. 25	登録有形文化財
新井家住宅中門及び塀	1883-1897	2014. 04. 25	登録有形文化財
新井家住宅内蔵	1839-1868	2014. 04. 25	登録有形文化財
真木家住宅日本館	1910 頃	2000. 04. 28	登録有形文化財
真木家住宅洋館	1910 頃	2000. 04. 28	登録有形文化財
白百合女子大学めぐみ荘	1868-1882	2014. 04. 25	登録有形文化財



所在地 : 小金井市本町 6-6-1  
出張所 : 1 署 (緑町消防出張所)  
火災発生件数 : 25 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧前川家住宅主屋	1942	2015. 03. 16	都指定文化財
旧自証院霊屋	1652	1976. 07. 01	都指定文化財





所在地：小平市仲町 21

出張所：2 署（小川出張所、花小金井出張所）

火災発生件数：39 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
津田塾大学 本館	1931	2001	都選定歴史的建造物



所在地：東村山市美住町 2-28

出張所：2 署（秋津消防署、本町出張所）

火災発生件数：29 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
正福寺地藏堂	1407	1952. 03. 29	国宝



所在地：国分寺市本多 1-7-15

出張所：2 署（戸倉出張所、西本出張所）

火災発生件数：22 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧本多家住宅倉	1900	2010. 09. 10	登録有形文化財
旧本多家住宅長屋門	1848	2010. 09. 10	登録有形文化財



所在地：狛江市和泉本町 1-23-10

出張所：1 署（猪方出張所）

火災発生件数：26 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：東大和市上北台 1-956-1

出張所：2 署（三ツ木出張所、東大和出張所）

火災発生件数：41 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
豊鹿島神社本殿	1550	1975. 07. 01	都指定文化財
村山下水貯水第一取水塔	1925	2009	都選定歴史的建造物



所在地：清瀬市中清戸 2-850-1

出張所：1 署（竹丘出張所）

火災発生件数：17 件

所在する歴史的建造物

なし



所在地：東久留米市幸町 3-4-34

出張所：1 署（新川出張所）

火災発生件数：25 件

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
村野家住宅穀蔵	1830-1868	2011. 01. 26	登録有形文化財
村野家住宅主屋	1838	2011. 01. 26	登録有形文化財
村野家住宅新蔵	1895	2011. 01. 26	登録有形文化財
村野家住宅中雀門	1919-1926	2011. 01. 26	登録有形文化財
村野家住宅土蔵	1830-1926	2011. 01. 26	登録有形文化財
村野家住宅薬医門	1881	2011. 01. 26	登録有形文化財
村野家住宅離れ	1898-1912	1999	都選定歴史的建造物
自由学園女子部食堂	1934	2003	都選定歴史的建造物
自由学園初等部食堂	1931	2003	都選定歴史的建造物
自由学園女子部体操館	1934	2003	都選定歴史的建造物
自由学園女子部講堂	1934	2003	都選定歴史的建造物
自由学園男子部体育館	1936	2003	都選定歴史的建造物



所在地：西東京市中町 1-1-6

出張所：3 署（田無派出所、西原派出所、保谷派出所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
小宮家住宅主屋	1937	2013. 03. 29	登録有形文化財
田無神社参集殿	1935	2007. 07. 23	登録有形文化財
田無神社本殿・拝殿	本殿：1858, 拝殿：1875	2000. 03. 06	都指定文化財





所在地：八王子市上野町 33

出張所：7 署（由木分署、富士森出張所、元八王子出張所、小宮出張所、浅川出張所、北野出張所、みなみ野出張所）

火災発生件数：-

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	選定年月日	指定区分
薬王院大師堂	-	1978. 03. 16	都指定文化財
薬王院仁王門	-	1976. 07. 01	都指定文化財
広園寺	-	1976. 07. 01	都指定文化財
西蓮寺薬師堂	-	1976. 07. 01	都指定文化財
高尾山不動堂	1624-1644	1976. 07. 01	都指定文化財
薬王院飯縄権現堂	1729	1976. 07. 01	都指定文化財



所在地：青梅市師岡町 3-2-5

出張所：2 署（日向和田出張所、長淵出張所）

火災発生件数：-

### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
観音寺阿弥陀堂	1467-1572	1946. 11. 29	重要文化財
観音寺仁王堂	1467-1572	1946. 11. 29	重要文化財
観音寺本堂	1467-1572	1946. 11. 29	重要文化財
旧宮崎家住宅	1801-1900	1978. 01. 21	重要文化財
宇津木家住宅主屋	1892	2007. 07. 31	登録有形文化財
旧ほていや玩具店店舗	1926-1988	2009. 04. 28	登録有形文化財
鹿島玉川神社本殿	-	1999. 03. 03	都指定文化財
福島家住宅	-	1994. 03. 22	都指定文化財
琥珀神社本殿	1734	1993. 03. 22	都指定文化財
春日神社本殿	1648	1990. 03. 22	都指定文化財
馬場家御師住宅	1866	1989. 03. 24	都指定文化財
成木熊野神社本殿	1640	1978. 03. 16	都指定文化財
旧吉野家住宅	1855	1976. 07. 01	都指定文化財
安楽寺本堂	1693	1976. 07. 01	都指定文化財
金剛寺表門	-	1976. 07. 01	都指定文化財
御嶽神社旧本殿	1606	1976. 07. 01	都指定文化財



所在地：町田市中町3-2-19

出張所：5署（忠生出張所、南出張所、鶴川出張所、西町田出張所、成瀬出張所）

火災発生件数：火災発生件数：

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
旧永井家住宅	1601-1700	1978. 01. 21	重要文化財
旧荻野家住宅	-	1976. 07. 01	都指定文化財
妙福寺祖師堂	-	1976. 07. 01	都指定文化財



所在地：日野市神明 2-14-3  
 出張所：2 署（豊田出張所、高幡出張所）  
 火災発生件数：32 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
金剛寺仁王門	1467-1572	1946. 11. 29	重要文化財
金剛寺不動堂	1342	1946. 11. 29	重要文化財
金剛寺旧五部権現社殿	-	1976. 07. 01	都指定文化財
渡邊家（蔵）	-	2010	都選定歴史的建造物



所在地：福生市福生 1072

出張所：3 署（羽村出張所、瑞穂出張所、熊川出張所）

火災発生件数：47 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
宮川家住宅主屋	1751-1829	2001. 10. 12	登録有形文化財
宮川家住宅納屋	1868-1911	2001. 10. 12	登録有形文化財
旧ヤマジユウ田村家住宅主屋	1902	2014. 12. 19	登録有形文化財
旧ヤマジユウ田村家住宅西土蔵	1904	2014. 12. 19	登録有形文化財
旧ヤマジユウ田村家住宅東土蔵	1911	2014. 12. 19	登録有形文化財
石川酒造向蔵	1896	2004. 02. 17	登録有形文化財
石川酒造雑蔵	1898 頃	2004. 02. 17	登録有形文化財
石川酒造新蔵	1898	2004. 02. 17	登録有形文化財
石川酒造長屋門	1830-1867	2004. 02. 17	登録有形文化財
石川酒造文庫蔵	1863	2004. 02. 17	登録有形文化財
石川酒造本蔵	1880	2004. 02. 17	登録有形文化財
田村酒造旧水車及び脇蔵	1926-1945	2013. 12. 24	登録有形文化財
田村酒造雑蔵	1862	2013. 12. 24	登録有形文化財
田村酒造酒造蔵	1822 頃	2013. 12. 24	登録有形文化財
田村酒造石垣	1919-1926	2013. 12. 24	登録有形文化財
田村酒造前蔵	1830	2013. 12. 24	登録有形文化財
阿蘇神社本殿	1676	1976. 07. 01	都指定文化財
熊川神社本殿	1597	1980. 02. 21	都指定文化財



所在地：多摩市諏訪 1-69

出張所：1 署（多摩センター出張所）

火災発生件数：21 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
森田家住宅旧米蔵	1830-1868	2013. 12. 24	登録有形文化財
森田家住宅見世蔵	1852	2013. 12. 24	登録有形文化財
森田家住宅御看経堂	1830-1868	2013. 12. 24	登録有形文化財
森田家住宅主屋	1830-1868	2013. 12. 24	登録有形文化財
森田家住宅西蔵	1830-1868	2013. 12. 24	登録有形文化財
森田家住宅前の蔵	1852 頃	2013. 12. 24	登録有形文化財
森田家住宅板塀	1926-1945	2013. 12. 24	登録有形文化財
森田家住宅味噌蔵	1830-1868	2013. 12. 24	登録有形文化財
森田家住宅門	1830-1868	2013. 12. 24	登録有形文化財
小机家住宅	1875 頃	1987. 02. 24	都指定文化財
真照寺薬師堂	-	1976. 07. 01	都指定文化財



所在地：あきる野市伊奈 466

出張所：2 署（秋留台出張所、檜原出張所）

火災発生件数：26 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
小林家住宅	1701-1800	1978. 01. 21	重要文化財
蛇の湯温泉たから荘	1751-1830	2013. 03. 29	登録有形文化財
中村屋住宅主屋	1830-1868	2011. 10. 28	登録有形文化財



所在地：西多摩郡奥多摩町氷川 951

出張所：0 署

火災発生件数：1 件

#### 所在する歴史的建造物

名称	建設年	指定年月日	指定区分
丹三郎屋敷長屋門	-	2011	都選定歴史的建造物



---

## 写真引用

---

1. 丸の内消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-marunouti/index.html>)
2. 麹町消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-koujimati/index.html>)
3. 神田消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kanda/index.html>)
4. 京橋消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kyoubasi/index.html>)
5. 日本橋消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-nihonbasi/index.html>)
6. 臨港消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-rinkou/index.html>)
7. 芝消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-siba/index.html>)
8. 麻布消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-azabu/index.html>)
9. 赤坂消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akasaka/index.html>)
10. 高輪消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-takanawa/index.html>)
11. 品川消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-sinagawa/index.html>)
12. 大井消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ooi/index.html>)
13. 荏原消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ebara/index.html>)
14. 大森消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-oomori/index.html>)
15. 田園調布消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-denencyofu/index.html>)
16. 蒲田消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kamata/index.html>)
17. 矢口消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-yaguti/index.html>)
18. 目黒消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-meguro/index.html>)
19. 世田谷消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-setagaya/index.html>)
20. 玉川消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-tamagawa/index.html>)
21. 成城消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-sei jyo/index.html>)
22. 渋谷消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-sibuya/index.html>)
23. 四谷消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-yotuya/index.html>)
24. 牛込消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-usigome/index.html>)
25. 新宿消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-sinjyuku/index.html>)
26. 中野消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-nakano/index.html>)
27. 野方消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-nogata/index.html>)
28. 杉並消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-suginami/index.html>)
29. 荻窪消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ogikubo/index.html>)
30. 小石川消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-koisikawa/index.html>)
31. 本郷消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-hongou/index.html>)
32. 豊島消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-tosima/index.html>)
33. 池袋消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ikebukuro/index.html>)
34. 王子消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ouji/index.html>)
35. 赤羽消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akabane/index.html>)
36. 滝野川消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-takinogawa/index.html>)
37. 板橋消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-itabasi/index.html>)
38. 志村消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-simura/index.html>)
39. 練馬消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-nerima/index.html>)
40. 光が丘消防署 東京消防庁 HP(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-hikarigaoka/index.html>)

- 
41. 石神井消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-syakuji/index.html>)
  42. 上野消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ueno/index.html>)
  43. 浅草消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-asakusa/index.html>)
  44. 日本堤消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-nihondutumi/index.html>)
  45. 荒川消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-arakawa/index.html>)
  46. 尾久消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ogu/index.html>)
  47. 千住消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-senjyu/index.html>)
  48. 足立消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-adati/index.html>)
  49. 西新井消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-nisiarai/index.html>)
  50. 本所消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-honjyo/index.html>)
  51. 向島消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-mukoujima/index.html>)
  52. 深川消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-fukagawa/index.html>)
  53. 城東消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-jyoutou/index.html>)
  54. 本田消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-honden/index.html>)
  55. 金町消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kanamati/index.html>)
  56. 江戸川消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-edogawa/index.html>)
  57. 葛西消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kasai/index.html>)
  58. 小岩消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-koiwa/index.html>)
  59. 立川消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-tatikawa/index.html>)
  60. 武蔵野消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-musasino/index.html>)
  61. 三鷹消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-mitaka/index.html>)
  62. 府中消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-fucyu/index.html>)
  63. 昭島消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akisima/index.html>)
  64. 調布消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-cyoufu/index.html>)
  65. 小金井消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-koganei/index.html>)
  66. 小平消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-koganei/index.html>)
  67. 東村山消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-higashimurayama/index.html>)
  68. 国分寺消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kokubunji/index.html>)
  69. 狛江消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-komae/index.html>)
  70. 北多摩西部消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kitatamaseibu/index.html>)
  71. 清瀬消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kiyose/index.html>)
  72. 東久留米消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-higasikurume/index.html>)
  73. 西東京消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-nisitokyo/index.html>)
  74. 八王子消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-hatiouji/index.html>)
  75. 青梅消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-oume/index.html>)
  76. 町田消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-matida/index.html>)
  77. 日野消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-hino/index.html>)
  78. 福生消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-fussa/index.html>)
  79. 多摩消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-tama/index.html>)
  80. 秋川消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akigawa/index.html>)
  81. 奥多摩消防署 東京消防庁 HP (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-okutama/index.html>)

---

アンケート

---

## 文化財防災状況調査にご協力ください

文化財など、歴史的に重要な文化資源が管区内に所在する消防署御中

私ども首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 建築学域 都市設計研究室では、歴史的に重要な文化資源の防災計画について調査をしております。本調査では、消防署だけではなく、所有者の皆様にもアンケートをお願いしているのですが、その視点は以下の通りです。

- 近年、電池式で安価な火災報知器などが出回り始めたが、このようなものを手始めに、文化財の防災や火災時の初期活動を容易にする工夫がなされているか
- 近年、歴史的な文化資源への関心が高まっているが、公開時に火災などが発生した場合の、見学者の避難計画などは立案されているか
- 歴史的な建造物には、貴重な美術工芸品が所蔵されている場合がしばしばあるが、例えば火災時に、建物の消火と同時に工芸品を救出する計画などは立案されているか
- 地域の消防に建物の図面を提供したり、共同で避難訓練をするなど、万が一の場合に備え、地域の消防署などとの協働体制が構築されているか。

以下のアンケートは、とりわけ4点目に関わるものです。今回は、国指定・登録文化財に加え、都選定歴史的な重要建造物など、歴史的に重要な文化資源が管区内に所在する消防署にアンケート調査をかけさせていただき、研究成果は、来年2月に武内の修士論文としてまとめた後、概要を提供させていただく予定です。

ぜひともご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 都市環境科学専攻  
建築学域 都市設計研究室

担当 修士2年 武内雄太

携帯電話：080-3301-3866

電話：042-677-1111（内線 4775）

住所：〒192-0397

東京都八王子市南大沢 1-1 9号館 866室

e-mail:takeuchi-yuuta1@ed.tmu.ac.jp

---

7月22日（金）までにご投函下さい

---

目的外使用はいたしません

本調査は、学術研究としてのみ利用させていただきます。目的外の使用はいたしません。

# 文化財など、歴史的に重要な文化資源の防災状況 についてのアンケート調査

---

1. 管区の文化財など、歴史的に重要な文化資源についてリストをお持ちですか。

はい  いいえ

2. 同様に、建物に所蔵された美術工芸品の所在などは把握されていますか。

はい  いいえ

3. 1または2に関して「はい」の場合で、建物の図面や、工芸品の所在場所を示す位置図をお持ちの物件はありますか。

はい  いいえ

4. 1または2または3で「はい」と答えた方にお尋ねします。リストや所在状況は、どのように把握されたのですか。（「地域の歴史研究会による提供」や「所有者からの申し出」など）

5. 近年、歴史的文化資源への関心が高まっていますが、公開時に火災などが発生した場合の、見学者の避難計画などに関し、文化財建造物の所有者などの相談に乗った案件はありますか。

はい  いいえ

6. 5で「はい」と答えた方にお尋ねします。

具体的にどのような計画なのかお教えてください（個人名は無理であれば挙げる必要はありませんが、できるだけ具体的に、指導内容などをお教え下さい）。



12. 文化財防災方針、避難方針、工芸品救出方針など、貴所が作成された資料があれば、お貸しいただけないでしょうか。当方にて複写後、すみやかにお戻しします。

はい     いいえ

13. その他、本研究に関するご助言や情報提供がある場合は以下に記述をお願いいたします。

--